

目次

解説（午前問題）・・・ 1

解説（午後問題）・・・ 21

解説の見方：(1) 問題分類 午前問題 問題1～110
午後問題 問題1～110

(2) 選択肢考察 答えと各選択肢の正誤が明確になるように、○×で示した。

歯科衛生士

第32回国家試験問題

解説書

歯科衛生士 第32回国家試験 問題&解説書 定価 1,540円（税込）

2023年6月10日 第1刷発行

発行

DHS 歯科衛生士部

〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目2-25 ベルエアプラザ3F

TEL. 011 (708) 7588 (代表) 無料通話 0120 (594) 509

本書の内容を無断で複写・複製・転載すると著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。
尚、乱丁、落丁がございましたらお取り替えいたします。

*正誤情報 発行後の法令改正、最新統計、診療ガイドライン関連の情報につきましては、
弊社ウェブサイト (<http://www.rdcnet.jp/>) にてお知らせいたします。

DHS 歯科衛生士部

第32回 歯科衛生士 国家試験問題 解答

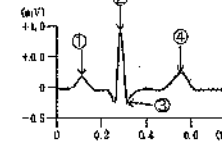
Table with columns for question number, answer, subject, and score. It is divided into '午前問題' (Morning Questions) and '午後問題' (Afternoon Questions). The table lists 110 questions with their respective answers and subjects.

午後 第31問 複数を正解として採点する。複数の正解があるため。
第79問 採点対象から除外する。設問が不明確で正解が得られないため。
第85問 採点対象から除外する。設問の状況設定が不十分で正解が得られないため。

- ※出題基準 1 人体(歯・口腔を除く。)の構造と機能 4 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 7 歯科予防処置論
2 歯・口腔の構造と機能 5 歯科衛生士概論 8 歯科保健指導論
3 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 6 臨床歯科医学 9 歯科診療補助論

32-A 午前問題解説

【問題 1】心電図波形を図に示す。心室筋に再分極が生じたときに現れるのはどれか。1つ選べ。
a ①
b ②
c ③
d ④



答え d

- × a ①はP波で心房収縮期である。
× b、× c ②と③はQRS波で心室収縮期である。
○ d ④はT波で心室再分極期である。

【問題 2】下顔面の写真(別冊午前No.1)を別に示す。矢印で示す部位の触覚を支配するのはどれか。1つ選べ。
a 三叉神経
b 舌咽神経
c 迷走神経
d 舌下神経



答え a

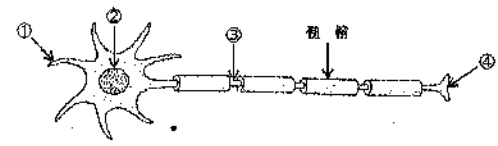
- a 矢印で示す舌の前方2/3の触覚を支配するのは舌神経である。舌神経は三叉神経第3枝の下顎神経の枝である。
× b 舌咽神経は舌の後方1/3の触覚、味覚を支配する。
× c 迷走神経は咽頭部の触覚、味覚を支配する。
× d 舌下神経は舌の運動を支配する。

【問題 3】象牙質にみられるのはどれか。1つ選べ。
a 周波条
b Retzius(レチウス)線
c Schreger(シュレーゲル)条
d Andresen(アンドレーゼン)線

答え d

- × a 周波条とは、レチウス条がエナメル質表面に終わる一連の溝で、エナメル質にみられる。
× b レチウス条とは、横線の5~10本間隔ごとにみられる発達した成長線で、エナメル質にみられる。
× c シュレーゲル条とは、エナメル小柱の横断された部分(暗い横断帯)と縦断された部分(明るい縦断帯)が縞模様を呈するもので、エナメル質にみられる。
○ d アンドレーゼン線とは、象牙質を脱灰切片にした際にみられる間隔20μmの平行線のことで、象牙質にみられる。

【問題 4】神経細胞を模式図に示す。神経伝達物質が放出されるのはどれか。1つ選べ。
a ① b ② c ③ d ④



答え d

- × a ①は神経細胞の樹状突起である。
× b ②は細胞体の核である。
× c ③は軸索のランビエの絞輪である。
○ d ④は軸索の末端部分で、神経(シナプス)終末である。他の神経細胞(ニューロン)とシナプスを介して結合し、神経伝達物質を放出して情報を伝達する。

【問題 5】食塊が胃から排泄されるまでの経路で正しいのはどれか。1つ選べ。
a 空腸→十二指腸→回腸→結腸→直腸
b 十二指腸→回腸→空腸→結腸→直腸
c 十二指腸→空腸→回腸→直腸→結腸
d 十二指腸→空腸→回腸→結腸→直腸

答え d

- × a、× b、× c ○ d 食塊が排泄されるまでの経路は、口腔→咽頭→食道→胃→十二指腸→空腸→回腸→盲腸→結腸→直腸→肛門である。

【問題 6】頭蓋骨模型の写真(別冊午前No.2)を別に示す。矢印で示す孔を通過するのはどの動脈の分枝か。1つ選べ。
a 顎動脈
b 顔面動脈
c 浅側頭動脈
d 上行咽頭動脈



答え a

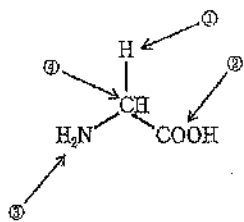
- a 矢印は眼窩下孔で、この孔を通過するのは眼窩下動脈である。眼窩下動脈は顎動脈の枝である。
× b、× c、× d 顎動脈、顔面動脈、浅側頭動脈、上行咽頭動脈はいずれも外頸動脈の枝で、顎動脈と顔面動脈はさらに分岐する。

【問題 7】 あるアミノ酸の構造を図に示す。

カルボキシル基はどれか。

1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え b

× a、○ b、× c、× d アミノ酸とは、アミノ基とカルボキシル（現在はカルボキシ）基の両方の官能基をもつ有機化合物で、アミノ基の化学式は -NH₂ で、カルボキシル基の化学式は -COOH である。

【問題 8】 有毛細胞が受容器なのはどれか。1つ選べ。

- a 嗅覚
- b 聴覚
- c 痛覚
- d 冷覚

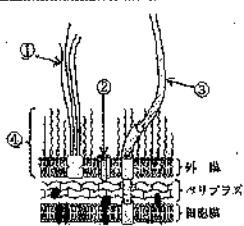
答え b

× a 嗅覚の受容器は嗅覚専用としてあるのではなく、鼻腔粘膜上部の嗅部として存在する。
○ b 有毛細胞は聴覚、平衡感覚の受容器である。
× c 痛覚の感覚受容器は自由神経終末である。
× d 冷覚の感覚受容器は自由神経終末である。

【問題 9】 グラム陰性菌の表層構造を模式図に示す。

リポ多糖はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え d

× a ①は線毛である。
× b ②はポーリンである。
× c ③は鞭毛である。
○ d ④はリポ多糖である。

【問題 10】 歯科用局所麻酔薬に添加するアドレナリンの薬理作用はどれか。1つ選べ。

- a 鎮静
- b 筋弛緩
- c 血管収縮
- d 血糖値降下

答え c

× a アドレナリンに鎮痛作用はない。
× b、○ c アドレナリンは血管平滑筋を収縮させるので、血管を収縮し、血圧上昇作用がある。
× d アドレナリンは膵臓のβ細胞に作用し、インスリンの分泌を抑制し、血糖値を上昇させる。

【問題 11】 口腔扁平苔癬の特徴はどれか。1つ選べ。

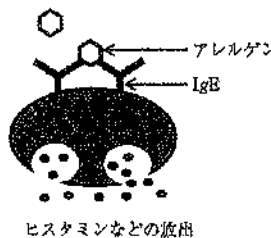
- a 無痛性
- b 日和見感染
- c 頬粘膜に両側性に発現
- d 再発性アフタ性潰瘍の形成

答え c

× a、○ c 口腔扁平苔癬は頬粘膜に両側性に発現し、接触痛がある。
× b 日和見感染は口腔カンジダ症の特徴である。
× d 再発性アフタ性潰瘍がみられるのはベーチェット病の特徴である。

【問題 12】 アレルギーの発症機序を模式図に示す。生じるアレルギーの型はどれか。1つ選べ。

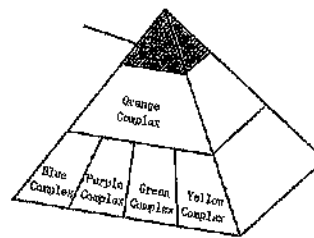
- a I型
- b II型
- c III型
- d IV型



答え a

○ a I型アレルギーでは、図のように肥満細胞や好塩基球に結合したIgE抗体にアレルギーが結合すると、肥満細胞や好塩基球からヒスタミンなどの脱顆粒が生じる。
× b II型アレルギーでは、血液細胞（赤血球、白血球、血小板）や組織の細胞の表面の抗原に抗体（IgG、IgM）が結合し、補体の関与により細胞傷害が生じる。
× c III型アレルギーでは、血中で抗原と抗体が反応して免疫複合体となり、さらに補体の活性化も加わって、組織傷害が生じる。
× d IV型アレルギーでは、抗原刺激を受けたT細胞がサイトカインを産生し、これによって活性化されたマクロファージや好中球が細胞を攻撃して、組織傷害が生じる。

【問題 13】 口腔細菌を歯周病への関連が高い順に分類しピラミッド状にしたものを模式図に示す。



(Socransky SS & Holtzlee AJ, 2002より改変)

矢印で示す部位に含まれるのはどれか。1つ選べ。

- a *Streptococcus mutans*
- b *Fusobacterium nucleatum*
- c *Porphyromonas gingivalis*
- d *Aggregatibacter actinomycetemcomitans*

答え c

× a、× b、○ c、× d 矢印が示すのは重度歯周炎に関連する「Red Complex」であり、*Porphyromonas gingivalis*、*Tannerella forsythia* (*forsythensis*)、*Treponema denticola* が含まれる。

【問題 14】 対象者、適用薬物および薬物療法の種類の組合せを表に示す。

対象者	適用薬物	薬物療法の種類
① 健常者	インフルエンザワクチン	予防療法
② 舌癌患者	抗悪性腫瘍薬	対症療法
③ 口腔カンジダ症患者	抗真菌薬	補充療法
④ アフタ性口内炎患者	副腎皮質ステロイド薬	原因療法

正しいのはどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

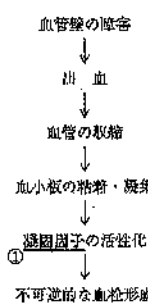
答え a

○ a 健常者にインフルエンザワクチンを接種するのは予防療法である。
× b 舌癌患者に抗悪性腫瘍薬を投薬するのは原因療法である。
× c 口腔カンジダ症患者に抗真菌薬を処方するのは原因療法である。
× d アフタ性口内炎患者に副腎皮質ステロイド薬を塗布するのは対症療法である。

【問題 15】 血管障害、出血および止血・血液凝固の過程を図に示す。

①の異常を示すのはどれか。1つ選べ。

- a 壊血病
- b 血友病
- c 再生不良性貧血
- d 特発性血小板減少性紫斑病



答え b

× a 壊血病はビタミンC（アスコルビン酸）の欠乏が原因で生じる疾患で、血管壁に異常が生じるため出血しやすい。
○ b 血友病は内因系凝固因子の異常が原因で、血友病A（第Ⅷ因子欠乏症）と血友病B（第Ⅸ因子欠乏症）がある。凝固因子の異常なので出血しやすい。
× c 再生不良性貧血では、骨髄での血球生成機能の低下により、赤血球、白血球、血小板の減少を伴う。血小板が減少するため出血しやすい。原因は不明である。
× d 特発性血小板減少性紫斑病は血小板数の減少がみられる疾患で、出血しやすい。原因は不明である。

【問題 16】 ソーシャルキャピタルはどれか。1つ選べ。

- a 自らの意思決定により自発的に行動できるようにする。
- b 社会の信頼関係、規範などの社会組織を説く概念である。
- c 健康情報に基づく意思決定で自身の健康を決める能力である。
- d 地域社会で障害をもつ人が健常者と同様の生活ができるようにする。

答え b

× a 自らの意思決定により自発的に行動できるようにするのはエンパワメントである。
○ b 社会の信頼関係、規範などの社会組織を説く概念はソーシャルキャピタルである。
× c 健康情報に基づく意思決定で自身の健康を決める能力はヘルスリテラシーである。
× d 地域社会で障害をもつ人が健常者と同様の生活ができるようにするのはノーマライゼーションである。

【問題 17】 口腔癌の発生部位で最も多いのはどれか。1つ選べ。

- a 舌
- b 口蓋
- c 口唇
- d 口腔底

答え a

○ a、× b、× c、× d 口腔癌は発生するすべての癌の2%を占め、発生部位は舌が最も多く、次いで歯肉、口腔底の順である。

【問題 18】 フッ化物洗口を実施しているA小学校と実施していないB小学校の追跡調査を行った。1年時と6年時の一人平均DMF歯数を図に示す。フッ化物洗口によるう蝕抑制率はどれか。1つ選べ。

学年	A小学校	B小学校
1年時	0.35	0.15
6年時	0.65	1.15

a 30 %
b 43 %
c 57 %
d 70 %

【問題 19】 歯周病の第一次予防と第二次予防の両方で行うのはどれか。1つ選べ。

a 暫間固定
b 歯周外科治療
c スケーリング
d ルートプレーニング

【問題 20】 特定の有害業務に従事する労働者に対して、歯科医師による健康診断の実施が義務付けられている。有害業務の対象となる物質として、法令に明記されているのはどれか。2つ選べ。

a 水銀
b 亜硫酸
c 二酸化硫黄
d フッ化水素

【問題 21】 歯頸部に付着したプラークの模式図を示す。①と比べて②で多い細菌の特徴はどれか。2つ選べ。

a 好気性である。
b 内毒素を含む。
c 糖発酵性をもつ。
d タンパク分解酵素を産生する。

【問題 22】 エナメル質のハイドロキシアパタイトが酸によって溶解するときのカルシウムとリン酸の溶液中の化学反応を図に示す。①はどれか。1つ選べ。

a F⁻
b H⁺
c Cl⁻
d Na⁺

HA + ① → Ca²⁺ + HPO₄²⁻
HA: ハイドロキシアパタイト

【問題 23】 地域包括ケアシステムにおける基本的な活動圏域はどれか。1つ選べ。

a 市町村
b 中学校区
c 都道府県
d 二次医療圏

答え d
× a、× b、× c、○ d A小学校とB小学校の1人平均DMF歯数の増加数は、A小学校(ΔA): 0.65 - 0.35 = 0.30
B小学校(ΔB): 1.15 - 0.15 = 1.00
フッ化物洗口によるう蝕抑制率は、
(ΔA - ΔB) / ΔB = (0.30 - 1.00) / 1.00 × 100 = 70%となる。

答え c
× a 暫間固定は第二次予防の早期発見・即時処置である。
× b 歯周外科治療は第二次予防の機能喪失防止である。
○ c 予防的なスケーリングは第一次予防の特異的予防であり、歯周基本治療としてのスケーリングは第二次予防の早期発見・即時処置である。
× d ルートプレーニングは第二次予防の早期発見・即時処置である。

答え b d
× a、○ b、× c、○ d 「労働安全衛生法」では「塩酸、硝酸、硫酸、亜硫酸、フッ化水素、黄リン、その他か歯またはその支持組織に有害なものガス、蒸気または粉じんを発生する場所における業務に従事する労働者」に対して歯科医師による健康診断の実施(特殊健康診断)が義務付けられている。

答え b d
× a 歯肉線上プラーク(①)と比べて歯肉線下プラーク(②)で多い細菌の特徴は偏性嫌気性である。
○ b ①と比べて②で多い細菌は歯周病原菌で、歯周病原菌はグラム陰性菌が多く、グラム陰性菌は内毒素(LPS)を含んでいる。
× c ②と比べて①で多い細菌はう蝕の原因菌が多く、糖発酵性をもつ。
○ d ①と比べて②で多い細菌は歯周病原菌で、歯周病原菌はタンパク分解酵素(プロテアーゼ)を産生する。

答え b
× a ハイドロキシアパタイト(HA: Ca₁₀(PO₄)₆(OH)₂)にフッ素(F⁻)が作用することでフルオロアパタイト(FA: Ca₁₀(PO₄)₆F₂)となる。
○ b、× c、× d ハイドロキシアパタイト(HA: Ca₁₀(PO₄)₆(OH)₂)が酸(H⁺)によって溶解することで、カルシウム(Ca²⁺)とリン酸(HPO₄²⁻)となる。

答え b
× a、○ b、× c、× d 地域包括ケアシステムは、おおむね30分以内に必要なサービスが提供される日常生活域(具体的には中学校区)を単位として想定されている。

【問題 24】 OHIのDIの診査基準と点数を図に示す。

点数	診査基準
0	付着が認められない
1	歯冠1/3以内または範囲に関係なく外來性沈着物の存在
2	歯冠1/3~2/3未着
3	歯冠2/3以上

この尺度はどれか。1つ選べ。
a 間隔尺度 b 順序尺度 c 比率尺度 d 名義尺度

【問題 25】 国際連合が2015年に採択した、すべての国に適用される普遍的な目標はどれか。1つ選べ。

a 持続可能な開発目標(SDGs)
b ミレニアム開発目標(MDGs)
c ヘルスプロモーション(HP)
d プライマリーヘルスケア(PHC)

【問題 26】 消炎作用を期待して洗口剤に配合される成分はどれか。1つ選べ。

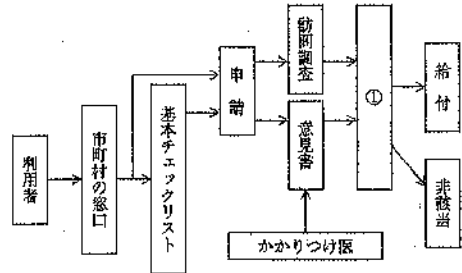
a ポリグルタミン酸
b プロピレングリコール
c 塩化セチルピリジニウム
d グリチルリチン酸二カルウム

答え b
× a 間隔尺度は、等間隔性が保たれているときで、日数、摂氏や華氏で示される温度などである。
○ b 順序尺度は、大小関係はあるが、1と2、2と3が等間隔でないときで、OHIなど多くの歯科保健の指標は順序尺度にあたる。
× c 比率尺度は、0点を有するもので、データの2倍、3倍などにも意味があるときで、長さ、質量、絶対温度、う蝕有病者率、歯周ポケット深さなどである。
× d 名義尺度は、直接大小関係はみられないことがほとんどだが、順序尺度の変数をいくつかのカテゴリーにわけて名義尺度として分析することができるもので、文字のデータ、う蝕の有無などである。

答え a
○ a 持続可能な開発目標(SDGs)では「誰一人取り残さないー No one will be left behind」を理念として、国際社会が2030年までに貧困を撲滅し、持続可能な社会を実現するための重要な指針として、17のゴールが設定されている。
× b ミレニアム開発目標(MDGs)は、極度の貧困と飢餓の撲滅など2015年までに達成すべき8つの目標を掲げ、達成期限となる2015年までに一定の成果をあげた。その内容は後継となる持続可能な開発のための2030アジェンダに引き継がれている。
× c ヘルスプロモーション(HP)は新しい健康観に基づく21世紀の健康戦略で、「人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」と定義されている。
× d プライマリーヘルスケア(PHC)はすべての人にとって健康を基本的な人権として認め、その達成の過程において住民の主體的な参加や自己決定権を保障する理念であり、そのために地域住民を主体とし、人々の最も重要なニーズに応え、問題を住民自らの力で総合的にかつ平等に解決していく方法論・アプローチでもある。

答え d
× a ポリグルタミン酸は保湿作用を期待して洗口剤に配合される成分である。
× b プロピレングリコールは溶解作用を期待して洗口剤に配合される成分である。
× c 塩化セチルピリジニウムは殺菌作用を期待して洗口剤に配合される成分である。
○ d グリチルリチン酸二カルウムは消炎作用を期待して洗口剤に配合される成分である。

次の文を読み、【問題 27】、【問題 28】に答えよ。
ある社会保険制度の給付までの流れを図に示す。



【問題 27】 ①を行うのはどれか。1つ選べ。

- a 保健所
- b 健康保険組合
- c 介護認定審査会
- d 地域包括支援センター

【問題 28】 ①の設置の根拠となる法律はどれか。1つ選べ。

- a 介護保険法
- b 健康増進法
- c 健康保険法
- d 高齢者の医療の確保に関する法律

【問題 29】 歯内の炎症の急性期に歯肉溝滲出液で多くみられるのはどれか。1つ選べ。

- a 好中球
- b 破骨細胞
- c リンパ球
- d マクロファージ

【問題 30】 水に難溶性の多糖はどれか。1つ選べ。

- a ムタン
- b レバン
- c イヌリン
- d デキストラン

【問題 31】 ヒューマンエラー対策で、ソフト面からの取組みはどれか。1つ選べ。

- a 関連知識の習得
- b 危険予知訓練の実施
- c チェックリストの作成
- d フールプルーフ医療機器の導入

答え c

× a、× b、○ c、× d 要介護認定を受けようとする被保険者は、市町村に申請を行う。介護保険給付がなされる要介護などの状態にあるかどうか、要介護状態にあるとすればどの程度かを確認するために、市町村などに設置される介護認定審査会において要介護認定が行われる。

答え a

○ a 「介護保険法」は要介護認定などを規定しており、介護認定審査会の設置も含まれる。
× b 「健康増進法」は健康日本 21などを規定している。
× c 「健康保険法」は医療保険（全国健康保険協会管掌健康保険や組合管掌健康保険など）を規定している。
× d 「高齢者の医療の確保に関する法律」は後期高齢者医療制度などを規定している。

答え a

○ a、× c、× d 歯内の炎症の急性期では歯肉溝滲出液に白血球（好中球やリンパ球、単球など）が多数みられるが、なかでも好中球の割合が多い。
× b 歯周炎の歯根膜では破骨細胞の浸潤がみられる。

答え a

○ a ムタンは α -1,3 グルコシド結合を主鎖とするブランクの基質成分で、不溶性の菌体外多糖（グルカン）である。
× b レバンは β -2,6 フルクトシド結合を主鎖とするブランクの基質成分で、水溶性の菌体外多糖（フルクタン）である。
△ c イヌリンは β -2,1 フルクトシド結合を主鎖とするブランクの基質成分で、水溶性の菌体外多糖（フルクタン）だが、一部であるが不溶性のものがある。
× d デキストランは α -1,6 グルコシド結合を主鎖とするブランクの基質成分で、水溶性の菌体外多糖（グルカン）である。

答え c

× a 関連知識の習得は、ヒューマンエラー対策における「ヒューマン」面からの取組みである。
× b 危険予知訓練の実施は、ヒューマンエラー対策における「ヒューマン」面からの取組みである。
○ c チェックリストの作成は、ヒューマンエラー対策における「ソフト」面からの取組みである。
× d フールプルーフ医療機器の導入は、ヒューマンエラー対策における「ハード」面からの取組みである。

【問題 32】 72歳の女性。脳梗塞の後遺症があり自宅で療養生活を送っている。上下顎全部床義歯を装着しており、嚥下機能に問題は無い。歯科医師の指示により歯科衛生士が口腔健康管理を行っている。聴取した情報を図に示す。

- ・食事の準備は夫が行い、食事は自立している。
- ・食事に時間がかかり、遅れて食べ残すことが多い。
- ・身長は150cmで体重は45kgであったが、体重が半年間で11%減少したという。

特に連携すべき専門職はどれか。1つ選べ。

- a 管理栄養士
- b 言語聴覚士
- c 作業療法士
- d 理学療法士

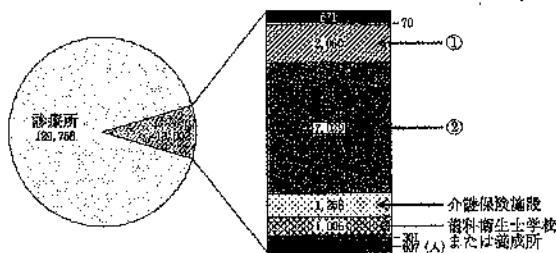
【問題 33】 感染性廃棄物とバイオハザードマークの色の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 血液を拭いたガーゼ ——— 赤
- b 歯垢染色に使用した綿球 ——— 赤
- c 唾液の付着したグローブ ——— 橙
- d 浸潤麻酔で使用した注射針 ——— 黄

答え c d

× a、× b、○ c 血液を拭いたガーゼ、歯垢染色に使用した綿球、唾液の付着したグローブはいずれも固形状のものなので、橙色のバイオハザードマークの容器に廃棄する。赤色のバイオハザードマークの容器には、液状・泥状のもの（血液、膿汁）を廃棄する。
○ d 浸潤麻酔で使用した注射針などの鋭利なものは、黄色のバイオハザードマークの容器に廃棄する。

【問題 34】 令和2年末現在における就業場所別の就業歯科衛生士数を図に示す。



①に該当するのはどれか。1つ選べ。

- a 病院
- b 事業所
- c 保健所
- d 市区町村

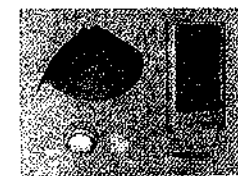
答え d

× a、× b、× c、○ d ①に該当するのが市区町村で、②に該当するのが病院である。

【問題 35】 ある検査に用いる器材の写真（別冊午前 No.3）を別に示す。

この検査により評価するのはどれか。1つ選べ。

- a 舌圧
- b 咬合圧
- c 口腔乾燥
- d 咀嚼能力



答え d

× a 舌圧は舌圧測定器で評価する。
× b 咬合圧は咬合力測定システム用フィルムなどで評価する。
× c 口腔乾燥は口腔水分計などで評価する。
○ d 写真の器材は、グルコース含有グミゼリーを用いた咀嚼能力検査に用いるものであるため、dが正しい。

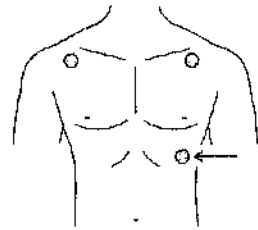
【問題 36】 心疾患のある患者に対して、生体監視モニターを用いて測定できるのはどれか。2つ選べ。

- a 血圧
- b 血糖値
- c 出血時間
- d 経皮的血中酸素飽和度

答え a d

○ a、○ d 生体監視モニターを用いて測定できるものとして、心電図や心拍数、呼吸、血圧、体温、経皮的血中酸素飽和度などが挙げられる。したがって、a dが正しい。
× b、× c 血糖値や出血時間は生体監視モニターで測定できず、採血して測定する。

【問題 37】 55 歳の男性。下顎右側第一大臼歯部の疼痛を主訴として来院した。心筋細動に対して薬物療法を受けているという。局所麻酔下に残根状態の同歯の抜去を行うため、心電図を装着することになった。前胸部の模式図を示す。



矢印で示す部位に設置する電極の色はどれか。1つ選べ。

- a 赤
- b 黄
- c 黒
- d 緑

答え d

× a、× b、× c、○ d 前胸部の模式図をみると、心電図の電極は3極であると判断できる。したがって、矢印で示す部位に設置する電極の色は緑である。

【問題 38】 44 歳の男性。全顎的な歯肉の腫脹を主訴として来院した。高血圧症に対する投薬が始まってから、上顎右側小臼歯部の歯間清掃がしにくくなったという。薬物性歯肉炎と診断され、歯周治療が開始された。再評価時の歯周組織検査結果の一部(別冊午前 No. 4)と、行った歯周外科治療の術前、術中、術後の口腔内写真(別冊午前 No. 5A、B、C)を別に示す。

探	アタッチメントレベル (mm)	2	2	3	2	2	3
探	PPD (mm)	2	2	④	⑤	①	2
探	歯 種	I4		I3			
探	PPD (mm)	2	2	④	③	2	2
探	アタッチメントレベル (mm)	2	2	2	2	2	2

○印：プロービング時の出血



行ったのはどれか。1つ選べ。

- a 新付着術
- b 歯肉切除術
- c 歯肉根尖側移動術
- d 歯周ポケット掻爬術

答え b

× a、○ b、× c、× d 歯肉腫脹を訴えており、薬物性歯肉炎と診断された患者である。口腔内写真をみると、歯肉腫脹部をカーランドメスで切除し、術後に歯肉の縫合をしておらず、歯肉切除術を行ったと判断できる。

【問題 39】 歯の損耗 (tooth wear) と関わる因子の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 咬耗症 ————— 過度のブラッシング
- b 酸蝕症 ————— 習慣性嘔吐
- c 摩耗症 ————— 唾液分泌の低下
- d くさび状欠損 ——— アブフラクション

答え b d

× a 咬耗症に関わる因子は咬合である。過度のブラッシングは関係ない。
○ b 酸蝕症に関わる因子として習慣性嘔吐が挙げられる。
× c 摩耗症に関わる因子は過度のブラッシングなどである。唾液分泌の低下は関係ない。
○ d くさび状欠損に関わる因子として咬合によるアブフラクションと過度のブラッシングが挙げられる。

【問題 40】 髓床底に穿孔を認めた下顎左側第一大臼歯に根管治療後、外科的歯内療法を実施した。術前術後の口腔内写真(別冊午前 No. 6A、B)を別に示す。

この治療法はどれか。1つ選べ。

- a 根尖切除
- b 歯根切断
- c 歯根分離
- d ヘミセクション



答え c

× a 根尖切除は歯根尖を切除する術式である。
× b 歯根切断は複根歯の保存不可能な歯根のみを切除去する術式である。
○ c 口腔内写真をみると、下顎第一大臼歯の髓床底部を切断し、歯根を近心根と遠心根に分離させている。したがって、この治療法は歯根分離である。
× d ヘミセクションは保存不可能な歯根を歯冠とともに除去する術式である。

【問題 41】 48 歳の女性。歯肉からの出血と口唇の乾燥を主訴として来院した。初診時の口蓋側面観の口腔内写真(別冊午前 No. 7)を別に示す。

矢印が示す特徴と関連の強いのはどれか。1つ選べ。

- a 口呼吸
- b 食片圧入
- c 不正咬合
- d 咬合性外傷



答え a

○ a、× b、× c、× d 矢印はテンションリッジであるため、関連の強いのは口呼吸である。食片圧入や不正咬合、咬合性外傷はテンションリッジと関連が強いとはいえない。

【問題 42】 非侵襲的修復法 (ART) に用いる器具・器具と材料の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a エアタービン ————— コンポジットレジン
- b ラバーカップ ————— バーニッシュ
- c Er: YAG レーザー ——— 酸化亜鉛エポキシセメント
- d スプーンエクスカベーター— グラスアイオノマーセメント

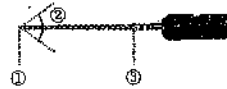
答え d

× a、× b、× c、○ d 非侵襲的修復法 (ART) はスプーンエクスカベーターで軟化歯質を可及的に除去し、グラスアイオノマーセメントで充填・封鎖する治療法である。エアタービンやラバーカップ、Er: YAG レーザーなどは用いない。

【問題 43】 ISO 規格の 55 号 K ファイルの写真 (別冊午前 No. 8) を別に示す。

正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ①の直径は 0.55mm である。
- b ②の角度は 75 ± 15 度である。①
- c テーパーは 4/100 (4%) である。
- d ①から③の長さは 18mm である。



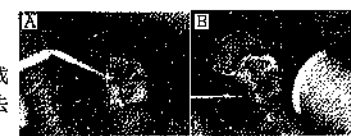
答え a b

○ a ISO 規格の 55 号 K ファイルであるため、①の直径は 0.55mm である。
○ b ISO 規格のファイルの②の角度は 75 ± 15 度である。
× c ISO 規格のファイルのテーパーは 2/100 (2%) である。
× d ISO 規格のファイルの①から③の長さは 16mm である。

【問題 44】 50 歳の男性。下顎右側第一大臼歯の軽度の冷水痛を主訴として来院した。う蝕症第 2 度と診断され、3 ステップ接着システムによるコンポジットレジン修復を行うことになった。接着操作時の口腔内写真 (別冊午前 No. 9A、B) を別に示す。

この操作により得られるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯面の粗粒化
- b 感染歯質の除去
- c 樹脂含浸層の形成
- d スメアー層の除去



答え a d

○ a、○ d 写真からエッチングおよび水洗を行っていることが判断できる。エッチングにより得られるのは歯面の粗粒化およびスメアー層の除去である。
× b 感染歯質の除去は接着操作前に行う。
× c 樹脂含浸層の形成はプライマー処理で得られる。

【問題 45】 49 歳の男性。上顎右側小臼歯部の歯肉の腫脹を主訴として来院した。検査の結果、慢性歯肉炎と診断され、歯周基本治療後に歯周組織再生療法が行われることになった。歯周外科治療時の口腔内写真 (別冊午前 No. 10A、B) を別に示す。

第一小臼歯近心の骨欠損部に対して行われたのはどれか。1つ選べ。

- a GTR 法
- b 新付着術
- c 自家骨移植術
- d 歯肉結合組織移植術



答え a

○ a、× b、× c、× d 歯周組織再生療法を行っている口腔内写真をみると、第一小臼歯近心の骨欠損部を覆うように GTR 膜が設置されていることがわかる。したがって、行われたのは GTR 法である。

【問題 46】 55 歳の女性。下顎左側臼歯部の欠損による咀嚼困難を主訴として来院した。診察の結果、下顎臼歯部は固定性ブリッジによる治療を行うことになった。適合印象採得後の写真 (別冊午前 No. 11) を別に示す。

矢印で示す印象材の特徴はどれか。

- 2つ選べ。
- a 硬さは粉液比で調整する。
- b 寸法安定性は水中で向上する。
- c 加熱によりゾル状態へ変化する。
- d ハイドロコロイド系印象材である。



答え c d

× a 写真は寒天・アルジネート適合印象採得を行っており、矢印は寒天印象材である。硬さを粉液比で調整するのはアルジネート印象材である。
× b 寒天印象材は、アルジネート印象材と同じく、空気中では離液や乾燥を生じて収縮し、水中では吸水して膨潤するので、寸法変化が生じる。
○ c 寒天印象材は 85 ~ 100°C に加熱するとゾル状態へ変化し、70°C 以下でゲル化を開始し 40°C でゲル状態になる。
○ d 寒天印象材とアルジネート印象材はともにハイドロコロイド系印象材である。

【問題 47】 75 歳の男性。上下顎義歯の紛失による咀嚼困難を主訴として来院した。診察の結果、上下顎全部床義歯を製作することになった。ある装置を試適している口腔内写真 (別冊午前 No. 12) を別に示す。

本装置の口腔内試適時に確認するのはどれか。2つ選べ。

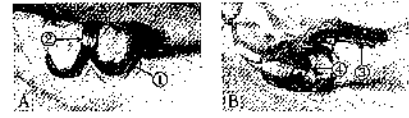
- a 咬合力
- b 構音機能
- c 咬合関係
- d 咀嚼能率



答え b c

× a 写真はろう義歯を口腔内に試適しているところである。ろう義歯の段階で人工歯に咬合力を加えると人工歯が脱落してしまうので、ろう義歯試適時には咬合力は確認しない。
○ b 構音機能はろう義歯試適時に確認する。パトグラム検査はろう義歯試適時や装着後に行う検査である。
○ c とくに中心咬合位の咬合関係をろう義歯試適時に確認する。
× d 人工歯に咬合力を加えると人工歯が脱落してしまうので、ろう義歯試適時には咀嚼能率は確認しない。

【問題 48】 60 歳の男性。下顎部分床義歯の支台装置破損による咀嚼困難を主訴として来院した。診察の結果、義歯修理を行うことになった。作業用模型上で完成した支台装置の頬側面観の写真(別冊午前 No. 13A)と咬合面観の写真(別冊午前 No. 13B)を別に示す。



- 支台歯への維持作用を発揮する部位はどれか。1つ選べ。
- a ①
 - b ②
 - c ③
 - d ④

【問題 49】 血管迷走神経反射でみられる症状はどれか。2つ選べ。

- a 過呼吸
- b 血圧低下
- c 心拍数の減少
- d 手足のしびれ

【問題 50】 口腔顎顔面領域に先天異常を伴うのはどれか。2つ選べ。

- a Down <ダウ> 症候群
- b Crouzon <クルーゾン> 症候群
- c Ramsay Hunt <ラムゼーハント> 症候群
- d Plummer-Vinson <プランマー・ビンソン> 症候群

【問題 51】 38 歳の男性。舌の異常を主訴として来院した。1か月前に異常に気付いたが、味覚に変化はなく、痛みやしびれなどの自覚症状はないという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 14)を別に示す。



この疾患について正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 紫斑がみられる。
- b 舌乳頭の消失がみられる。
- c 口腔潜在的悪性疾患である。
- d 鉄欠乏性貧血が原因である。

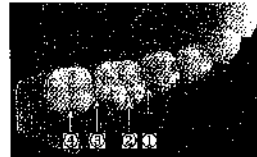
【問題 52】 64 歳の女性。下顎左側臼歯部の違和感を主訴として来院した。約 1 年前から同部に違和感を自覚していたが、2か月前から症状が強くなってきたという。3 年前から糖尿病と骨粗鬆症のため薬物療法を受けている。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 15)を別に示す。



矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

- a 水疱
- b 腐骨
- c 過角化
- d びらん

【問題 53】 下顎歯列模型の一部の写真(別冊午前 No. 16)を別に示す。正常咬合の場合、上顎右側第一大臼歯の近心頬側咬頭が対咬するのはどれか。1つ選べ。



- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

答え a

- a ①は維持腕の鉤尖である。支台歯への維持作用を発揮する。
- × b ②は鉤肩である。支台歯への把持作用を発揮する。
- × c ③は鉤脚である。支台歯と接触していないので、支台歯への作用はない。
- × d ④はレストである。支台歯への支持作用を発揮する。

答え b c

- × a 過呼吸は過換気症候群の症状の1つである。
- b、○ c 血管迷走神経反射<神経性ショック>では、血圧低下、心拍数の減少、顔面蒼白、呼吸数の減少、四肢の無力状態などがみられる。
- × d 手足のしびれ<テタニー症状>は過換気症候群の症状の1つである。

答え a b

- a、○ b 口腔顎顔面領域に変形を伴う先天異常疾患には、Down <ダウ> 症候群、Crouzon <クルーゾン> 症候群、第一・第二鯁弓症候群、Treacher Collins <トリーチャー・コリンズ> 症候群、Pierre Robin <ピエール・ロバン> 症候群などがある。
- × c Ramsay Hunt <ラムゼーハント> 症候群は、帯状疱疹ウイルスによる感染が顔面神経運動線維に波及している疾患である。
- × d Plummer-Vinson <プランマー・ビンソン> 症候群は、鉄欠乏性貧血の口腔症状である。舌乳頭が萎縮して平滑舌となる。症状はHunter <ハンター> 舌炎と同じである。

答え b

- × a 写真は正中菱形舌炎で、紫斑はみられない。
- b 正中菱形舌炎では、舌背中央部の正中後方 1/3 に菱形の舌乳頭の消失がみられる。舌発生時の無対結節の残存と考えられている。治療法は特にはない。
- × c 正中菱形舌炎は悪性疾患ではない。
- × d 鉄欠乏性貧血が原因で生じるのは平滑舌である。

答え b

- × a 矢印は水疱(水ぶくれ)とは考えにくい。
- b 骨粗鬆症のため薬物療法を受けているというので、ビスホスホネート製剤を投与されていると考えられる。矢印は欠損部の顎堤なので、抜歯後に顎骨壊死が生じて、腐骨形成が起きたと考えられる。
- × c 過角化は白板症でみられる。写真は白板症ではないと考えられる。
- × d びらんとは、皮膚や粘膜の表皮が浅く欠損している状態のことである。矢印はびらんとは考えにくい。

答え b

- × a、○ b、× c、× d 正常咬合で、上顎右側第一大臼歯の近心頬側咬頭が対咬するのは下顎右側第一大臼歯の頬面溝である。したがって、②が正しい。

【問題 54】 矯正歯科の診断過程を図に示す。①の過程で行われるのはどれか。2つ選べ。



- a 印象採得
- b 成長予測
- c 主訴の聴取
- d 頭部エックス線規格写真撮影

【問題 55】 下顎骨の写真(別冊午前 No. 17)を別に示す。

矢印で示す部位の成長を促進できるのはどれか。1つ選べ。



- a ヘッドギア
- b オトガイ帽装置
- c パイオネーター
- d リップバンパー

答え c

- × a ヘッドギアは上顎の成長を抑制できる装置である。
- × b、○ c 矢印は下顎頭を示している。下顎頭の成長を促進できるのはパイオネーターである。オトガイ帽装置は下顎頭の成長を抑制する装置である。
- × d リップバンパーは下顎の成長を促進するものではない。

【問題 56】 1 歳の女児。萌出した歯の後方部分が腫れているため、精密を希望して来院した。萌出性嚢胞と診断された。口腔内写真(別冊午前 No. 18)を別に示す。



- 主訴の部位に関する説明で正しいのはどれか。1つ選べ。
- a 唾液がたまってしまっています。
 - b 膿がたまっているのがみえますね。
 - c 乳歯の奥歯が生えてくるので様子をみましょう。
 - d 歯をつくったごりのかたいものが残っていますね。

答え c

- × a 唾液がたまっているのは粘液嚢胞と考えられる。
- × b 膿がたまっているのは膿瘍と考えられる。
- c 萌出性嚢胞は歯の萌出時にみられるため、「乳歯の奥歯が生えてくるので様子をみましょう」という説明は適切である。
- × d 歯をつくったごりのかたいものは上皮珠と考えられる。

【問題 57】 6 歳の女児。定期学校歯科健康診断で歯の形態異常を指摘され来院した。矢印で示す形態異常について保護者から今後の注意事項を聞かれた。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 19)を別に示す。



- 説明するのはどれか。2つ選べ。
- a う蝕
 - b 歯周炎
 - c 交換期障害
 - d 歯冠の変色

答え a c

- a、× b、○ c、× d 矢印の歯は癒合歯である。癒合歯では、裂溝部のう蝕や歯根吸収不全による交換期障害に留意する必要があるため、保護者に説明するとよい。歯周炎や歯冠の変色は考えにくい。

【問題 58】 3 歳の男児。初めて歯科治療を行う前に、5 歳の兄が上手に治療を受けている様子を観察させた。

用いた行動変容技法はどれか。1つ選べ。

- a モデリング法
- b タイムアウト法
- c トークンエコノミー法
- d ハンドオーバーマウス法

答え a

- a モデリング法は手本となるモデルを観察させて模倣学習させる行動変容技法である。5 歳の兄が上手に治療を受けている様子を観察させているため、用いたのはモデリング法である。
- × b タイムアウト法は、不適切な行動などを行った場合に、一定時間別の場所や状況に隔離する行動変容技法である。
- × c トークンエコノミー法は、望ましい行動をするたびにトークンを与える行動変容技法である。
- × d ハンドオーバーマウス法は、泣き叫んだり大声を出して暴れる小児の口を術者の手で塞ぐ行動変容技法である。

【問題 59】 68 歳の女性。頭部外傷で急性期病院に入院したため、食事時の注意点について歯科に問い合わせがあった。摂食嚥下機能評価を行ったところ嚥下は可能であったが評価時の咳は認められなかった。評価時の写真例(別冊午前 No. 20)を別に示す。




- 適切な指導内容はどれか。1つ選べ。
- a 一口量を少なくする。
 - b 交互嚥下で水を用いる。
 - c 嚥声を確認しながら食事をとる。
 - d リクライニングの姿勢で食事をとる。

答え c

- × a 摂食嚥下機能評価を行ったところ嚥下は可能なため、一口量を少なくする必要はない。
- × b 咳テストで咳が認められなかったことから不顕性誤嚥の疑いがあるため、交互嚥下で水を用いると誤嚥する可能性がある。
- c 咳テストで咳が認められなかったことから不顕性誤嚥の疑いがあるため、食事時の嚥声を確認することが重要である。
- × d 摂食嚥下機能評価を行ったところ嚥下は可能なため、リクライニングの姿勢で食事をとる必要はない。

【問題 60】 84歳の女性。食事介助が困難であることを主訴として歯科訪問診療の依頼があった。特別養護老人ホームに入居しており、義歯を使用せず刻み食を全介助で摂取している。食事摂取後の口腔内写真（別冊午前 No. 21）を別に示す。
発音が困難と考えられるのはどれか。2つ選べ。

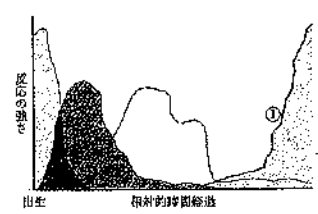
a カ
b タ
c ハ
d マ



答え ab
○a 食事摂取後の口腔内写真から口蓋に刻み食が残留しているため、舌の挙上が困難と考えられる。力は軟口蓋音で舌の後方運動が関与するため、発音が困難と考えられる。
○b タは歯蓋音で舌の前方運動が関与するため、発音が困難と考えられる。
×c、×d ハは咽喉音、マは両唇音なので、発音が困難とは考えられない。

【問題 61】 障害児の誕生に対する親の反応の時間的変化を図に示す。
①はどれか。1つ選べ。


a 順応
b 否認
c ショック
d 悲嘆と怒り



答え a
○a、×b、×c、×d 障害児の誕生に対する親の反応の時間的変化を図で示されているのは、障害児の直後は大きなショックを受け、現実を受け入れられず否認し、悲嘆と怒りを繰り返し、徐々に順応(①)して再建していく流れである。

【問題 62】 9歳の男児。口腔清掃指導を希望して来院した。重度脳性麻痺で、歯口清掃は保護者が行っている。指導前の口腔内写真（別冊午前 No. 22）を別に示す。
保護者に説明する事項はどれか。2つ選べ。


a 歯肉出血があります。
b 成長に伴い前歯は噛み合ってきます。
c 舌突出による歯列不正がみられます。
d 歯の根元までしっかり磨けています。



答え ac
○a 口腔内写真から歯肉出血が多数みられるため、保護者に説明する必要がある。
×b 口腔内写真から舌突出癖が疑われるため、成長に伴い前歯が噛み合う可能性は低いと考えられる。
○c 口腔内写真から舌突出癖による前歯部開咬がみられるため、舌突出による歯列不正について保護者に説明する必要がある。
×d 口腔内写真から歯頸部に歯肉出血が多数みられるため、歯の根元までしっかり磨けていないと考えられる。

【問題 63】 38歳の男性。歯肉の着色を主訴として来院した。痛みなどの症状はないという。初診時の口腔内写真（別冊午前 No. 23）を別に示す。
主訴の原因となる生活習慣はどれか。1つ選べ。


a 喫煙
b 偏食
c 過度の飲酒
d 甘味食品の摂取



答え a
○a、×b、×c、×d 歯肉の着色を訴えているが、写真でメラニン色素の沈着がみられる。原因となる生活習慣として喫煙が考えられる。偏食や過度の飲酒、甘味食品の摂取は主訴の原因でない。

【問題 64】 シックルタイプスケーラーをシャープニングしている写真（別冊午前 No. 24）を別に示す。
正しいのはどれか。2つ選べ。

a ①
b ②
c ③
d ④



答え ab
○a ①はシックルタイプスケーラーのフェイスをシャープニングする操作である。
○b、×d ②はシックルタイプスケーラーの側面のシャープニングする操作である。④は砥石の角度が異なる。
×c ③の操作はキュレットタイプスケーラーの刃部先端のシャープニングの操作と考えられる。シックルタイプスケーラーのシャープニングではない。

【問題 65】 歯周組織検査で、歯が頬舌的に2mm、近遠心的に1.5mm動揺していた場合のMillerの分類はどれか。1つ選べ。

a 0度
b 1度
c 2度
d 3度

答え c
×a 0度は生理的動揺の範囲である。
×b 1度は唇舌的に0.2～1mm動揺する場合である。
○c 歯が頬舌的に2mm、近遠心的に1.5mm動揺していた場合のMillerの分類は2度である。
×d 3度は唇舌的、近遠心的に2mm以上の動揺、または垂直的に動揺する場合である。

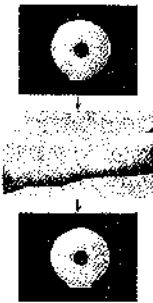
【問題 66】 プラーククリテンションファクターはどれか。2つ選べ。

a 歯石
b 口呼吸
c 咬合性外傷
d ブラキシズム

答え ab
○a、○b 歯石や口呼吸はプラーククリテンションファクターである。
×c、×d 咬合性外傷やブラキシズムは外傷性因子である。

【問題 67】 う蝕活動性試験の写真（別冊午前 No. 25）を別に示す。
この試験で評価しているのはどれか。1つ選べ。

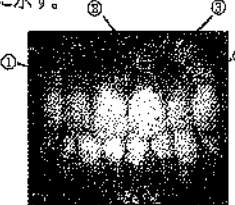
a 唾液の緩衝能
b 歯垢のpH変化
c 歯垢の酸産生能
d レサズリン還元性菌の活性



答え d
×a、×b、×c、○d 写真を見ると、フィルムを上腕内側に貼り付けているため、このう蝕活動性試験はRDテスト®であると判断できる。RDテスト®で評価するのはレサズリン還元性菌の活性性である。唾液の緩衝能や歯垢のpH変化、歯垢の酸産生能を評価するものではない。

【問題 68】 17歳の女子。定期歯科健康診査のため来院した。歯科医師の指示により、歯肉の検査を行うことになった。来院時の口腔内写真（別冊午前 No. 26）を別に示す。
PMA IndexのA部はどれか。1つ選べ。


a ①
b ②
c ③
d ④



答え c
×a ①はPMA IndexのM部である。
×b ②は歯槽粘膜部である。
○c ③はPMA IndexのA部である。
×d ④はPMA IndexのP部である。

【問題 69】 55歳の女性。上顎右側前歯部の歯肉の腫脹を主訴として来院した。慢性歯周炎と診断された。初診時の口腔内写真（別冊午前 No. 27）を別に示す。
観察できるのはどれか。2つ選べ。

a クレフト
b フェストゥーン
c ブラックトライアングル
d エナメルプロジェクション



答え ac
○a 写真を見ると、上顎犬歯部にU字型のクレフトがみられる。
×b フェストゥーンは辺縁歯肉のロール状肥厚である。本症例の写真では観察できない。
○c 写真を見ると、乳頭歯肉が退縮し歯間部にブラクトライアングルがみられる。
×d エナメルプロジェクションはエナメル突起である。本症例の写真では観察できない。

【問題 70】 7歳の女児。フッ化物の塗布を希望して保護者と来院した。歯科医師からトレー法でフッ化物溶液の塗布を行うよう指示があった。
術式に含まれるのはどれか。2つ選べ。

a 防湿
b 歯面乾燥
c トレー試適
d 余剰薬剤除去

答え bc
×a、×d トレー法で行うフッ化物溶液の塗布の術式では、歯面乾燥させる際に簡易防湿を併用することもある。また、トレー除去後に口腔内に残った余剰のゲル・フォームを拭き取るという。ただし、厚労省はa dを誤答としている。
○b、○c、 トレー法で行うフッ化物溶液の塗布の術式では、塗布前にトレー試適やエアによる歯面乾燥を行う。

【問題 71】 超音波スケーラーを用いた歯周ポケット内のイリゲーション操作で正しいのはどれか。2つ選べ。

a 根面に圧接する。
b 先端2mmの側面を用いる。
c 歯面に対して45度で使用する。
d 水流が線状に出る状態に調整する。

答え bd
×a、○b 超音波スケーラーを用いた歯周ポケット内のイリゲーション操作では、チップの先端2mmの側面を用いて、歯根面に圧接させず、歯根面をできるだけなでるようにゆっくりとしたストロークで動かす。
×c 超音波スケーラーによるスケーリング操作では歯面に対して15度前後で使用する。
○d 超音波スケーラーを用いた歯周ポケット内のイリゲーション操作では、水流が線状に出る状態に調整して行う。

【問題 72】日本人の成人のおおよそのフッ化物摂取量(mgF/日)はどれか。1つ選べ。
 a 0.05 ~ 0.3
 b 0.5 ~ 3.0
 c 5.0 ~ 30
 d 50 ~ 300

答え b
 × a、○ b、× c、× d 日本人の成人のおおよそのフッ化物摂取量は 0.5 ~ 3.0mgF/日である。

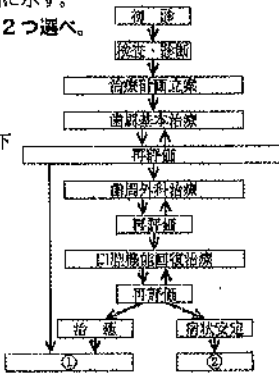
【問題 73】26歳の女性。定期歯科健康診査のため来院した。歯周組織検査時の写真(別冊午前 No. 28)と歯周組織検査結果の一部(別冊午前 No. 29)を別に示す。
 この部位の付着歯肉幅はどれか。1つ選べ。
 a 3mm b 4mm c 5mm d 6mm

歯種	PPD(mm)	3	3	3	3	2	2
歯種		11				21	
口裂側	PPD(mm)	2	2	2	2	2	2



フローアの目盛りは3mm

【問題 74】歯周治療の流れを図に示す。
 ①へ移行する基準はどれか。2つ選べ。
 a BOP率 20% 以下
 b 歯の動揺 0.2mm 以内
 c 歯周ポケット 4mm 未満
 d O'Leary の PCR30% 以下

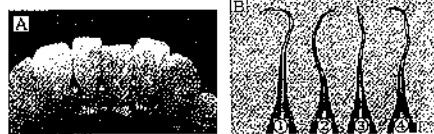


答え bc
 × a、○ b、○ c、× d 歯周治療の流れで、治療の症例が①へ移行しているため、①はメンテナンスと考えられる。メンテナンスへ移行する基準として、歯の動揺 0.2mm 以内や歯周ポケット 4mm 未満が挙げられる。BOP率 20% 以下や O'Leary の PCR30% 以下はメンテナンスへ移行する基準でない。

【問題 75】破折防止のため小窩裂溝充填材を応用するのはどれか。1つ選べ。
 a 基底結節
 b 臼後結節
 c 臼傍結節
 d 中心結節

答え d
 × a、× b、× c、○ d 中心結節は臼歯咬合面中央部にみられる異常結節であり、破折防止のため小窩裂溝充填材が応用される。基底結節や臼後結節、臼傍結節の破折防止のために小窩裂溝充填材を応用することはない。

【問題 76】65歳の女性。定期歯科健康診査のため来院した。歯周組織検査後にスクレーリングを行うことになった。口腔内写真(別冊午前 No. 30A)とスクレーラーの写真(別冊午前 No. 30B)を別に示す。
 矢印で示す歯肉縁上歯石の除去に適したスクレーラーはどれか。1つ選べ。



答え a
 ○ a、× b、× c、× d 矢印の部位は下顎中切歯であり、同部の歯肉縁上歯石の除去にはシックルタイプスクレーラーである①が適している。②や③、④は歯肉縁下歯石の除去に適しているキュレットタイプスクレーラーである。

【問題 77】6歳の男児。う蝕予防処置を希望して保護者と来院した。歯科医師から小窩裂溝充填を行うよう指示された。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 31)を別に示す。
 矢印で示す歯の充填に使用する器具・器材はどれか。2つ選べ。



答え ac
 ○ a、○ c、× d 矢印の歯は萌出途中の下顎第一大臼歯であるため、ラバーダム防湿が困難である。したがって、簡易防湿で行うセメント系充填材を用いることとなるため、ロール綿やパーニッシュを使用する。
 × b 歯間分離器は小窩裂溝充填には使用しない。

- a ロール綿
- b 歯間分離器
- c パーニッシュ
- d ボンディング材

【問題 78】急性期病院に勤務する看護師を対象に口腔ケアの講話を依頼された。対象者の所属診療科を表に示す。
 講話の内容で適切なのはどれか。2つ選べ。

血液内科	15人
腫瘍外科	20人

- a う蝕予防
- b 嚥下訓練
- c 疼痛管理
- d 口腔アセスメントの方法

答え cd
 × a、× b 急性期病院で血液内科や腫瘍外科に勤務する看護師を対象として、う蝕予防や嚥下訓練について講話してもあまり意味がない。
 ○ c 例えば悪性腫瘍の患者では症状として疼痛がみられるため、急性期病院で血液内科や腫瘍外科に勤務する看護師を対象として、疼痛管理は講話の内容として適切である。
 ○ d 急性期病院に勤務する看護師を対象に口腔ケアの講話を依頼されているため、口腔アセスメントの方法は講話の内容として適切である。

【問題 79】80歳の男性。口が乾くことを主訴として来院した。脳梗塞の既往があり、居宅療養中である。RSSTは3回/30秒、BDRはすべて自立である。歯科医師の指示で、液状タイプの保湿剤の使用方法を指導することになった。

- 指導内容はどれか。1つ選べ。
 a 使用後、水でうがいする。
 b 適量を口に含ませ、20 ~ 30秒すすぐ。
 c 自分で歯ブラシにつけて、口腔内になじませる。
 d 介助者がスポンジブラシを用いて、口腔内全体に塗布する。

答え b
 × a 保湿剤の使用後に水でうがいさせるとは考えにくい。
 ○ b 保湿剤の適量を口に含ませ、20 ~ 30秒すすいでから吐き出すように指導する。
 × c、× d 液状タイプではなく、ジェルタイプは口腔内に塗布後、介助者の指や歯ブラシ、スポンジブラシを使用して広げ、口腔内全体になじませる。

【問題 80】5歳の男児。歯の変色を主訴として来院した。歯科医師から指示を受け、保護者へ洗口剤使用法の指導を行った。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 32)を別に示す。



- 適切なものはどれか。2つ選べ。
 a 歯磨き前に洗口する。
 b ガラガラうがいを行う。
 c 洗口後の飲食を控える。
 d フッ化物配合のものを選ぶ。

答え cd
 × a 歯磨き後に洗口するのが適切である。
 × b ブクブクうがいを行うのが適切である。
 ○ c 口腔内写真から上顎前歯部に多数歯う蝕がみられることから哺乳ビンう蝕が疑われるため、洗口後の飲食を控えるべきである。
 ○ d 口腔内写真から上顎前歯部に多数歯う蝕がみられることから、洗口剤はフッ化物配合のものを選ぶのが適切である。

【問題 81】57歳の男性。1年前に①脳梗塞を発症し、軽度の左半身麻痺がある。②本人の意欲と③家族の支えもあり、先週から④仕事に復帰することができた。
 下線部分で国際生活機能分類(ICF)の環境因子はどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

答え c
 × a ①は「健康状態」に該当する。
 × b ②は「個人因子」に該当する。
 ○ c ③は「環境因子」に該当する。
 × d ④は「参加」に該当する。

【問題 82】白血病で生じやすいのはどれか。2つ選べ。
 a う蝕
 b 口腔乾燥
 c 出血傾向
 d 免疫機能の低下

答え cd
 × a、× b う蝕や口腔乾燥が白血病で生じやすいとは考えにくい。
 ○ c 白血病では出血傾向がみられるため、歯肉出血が生じやすい。
 ○ d 白血病では白血病細胞の増加による免疫機能の低下が生じやすい。

【問題 83】ヘルスリテラシーが高いと上昇するのはどれか。2つ選べ。
 a 間食の回数
 b 1日の喫煙本数
 c 自分の口臭への関心度
 d 定期歯科健康診査の受診頻度

答え cd
 × a ヘルスリテラシー(健康情報に基づく意思決定で自身の健康を決める能力)が高いと間食の回数は減少する。
 × b ヘルスリテラシーが高いと喫煙しない。
 ○ c ヘルスリテラシーが高いと自分の口臭への関心度が上昇する。
 ○ d ヘルスリテラシーが高いと定期歯科健康診査の受診頻度が上昇する。

【問題 84】60歳の女性。歯の疼痛を主訴として来院した。初診時の医療面接の一部を示す。

患者: いつも疲れているのに痛みでよく眠れないんです。
 歯科衛生士: お仕事が忙しいのですか。
 患者: 仕事もですが、両親の介護で時間に余裕がないから、できるだけ少ない受診回数で痛みを取る治療をして欲しいです。
 歯科衛生士: ご家族の介護で、大変だったんですね。

用いたコミュニケーションスキルはどれか。2つ選べ。
 a 傾聴 b 情報提供 c 共感的態度 d ゼロポジション

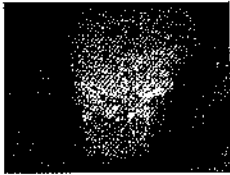
答え ac
 ○ a 患者の話をも動的に聴いているため、傾聴を用いている。
 × b コミュニケーションスキルとして情報提供は用いていない。
 ○ c 「ご家族の介護で、大変だったんですね」と共感的態度を用いている。
 × d 「いつも疲れているのに痛みでよく眠れない」に対して「仕事は忙しいのですか」と先入観で質問しているため、ゼロポジションを用いたとはいえない。

【問題 85】 A市から離乳食を開始する保護者を対象とした口腔機能の発達と食育に関する講話の依頼を受けた。離乳の時期と説明を表に示す。

離乳の時期	説明
① 初期	スプーンボウルは舌の中央に入れるようにしましょう。
② 中期	コップで水を飲むようにしましょう。
③ 後期	歯ぐきでつぶせるかたさにしましょう。
④ 完了期	手づかみ食で自分で食べるようにしましょう。

正しいのはどれか。2つ選べ。
a ① b ② c ③ d ④

【問題 86】 88歳の男性。食後に自身で歯磨きをしており、舌背に触ると痛みがあるという。介護保険施設から口腔衛生管理の依頼を受けた。歯科医師から、歯科保健指導を指示された。舌の写真(別冊午前No.33)を別に示す。舌清掃に適しているのはどれか。2つ選べ。



- a 歯ブラシ
- b 粘膜ブラシ
- c 水流式清掃用具
- d スポンジブラシ

【問題 87】 Friedらのフレイルの5つの評価基準を図に示す。フレイルに該当する最小項目数はどれか。1つ選べ。

- ・体重減少
- ・主観的疲労感
- ・日常生活活動量の減少
- ・身体能力(歩行速度)の減弱
- ・筋量(握力)の低下

- a 1
- b 2
- c 3
- d 4

【問題 88】 2型糖尿病患者に対する食生活指導で特に摂取を勧めるのはどれか。1つ選べ。

- a 塩分
- b 食物繊維
- c タンパク質
- d 飽和脂肪酸

【問題 89】 50歳の男性。入院中の口腔健康管理を行うことになった。5日前に化学療法が終了し、口腔内の痛みで食事摂取が困難であるという。受診時の写真(別冊午前No.34)を別に示す。現時点で、摂取しやすいのはどれか。2つ選べ。



- a 冷奴
- b ゼリー
- c クッキー
- d グレープフルーツ

答え cd

- × a ①は離乳後期の説明である。
- × b ②は離乳完了期の説明である。
- c ③は離乳後期の説明である。
- d ④は離乳完了期の説明である。

答え bd

- × a、× c 歯ブラシや水流式清掃用具は舌背の清掃には適していない。
- b、○ d 舌の写真から舌背に多量の舌苔が付着しており、舌背に触ると疼痛があるため、舌背の清掃には粘膜ブラシやスポンジブラシが適している。

答え c

- × a、× b、○ c、× d フレイルは体重減少、主観的疲労感、日常生活活動量の減少、身体能力(歩行速度)の減弱、筋量(握力)の低下の5つの評価基準のうち3項目(最小項目数)以上で該当する。

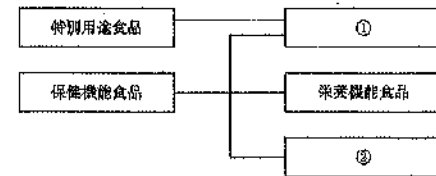
答え b

- × a 高血圧に対する食生活指導では塩分の摂取を控えるように勧める。
- b 2型糖尿病患者に対する食生活指導では特に食物繊維の摂取を勧めることで、食後血糖値の上昇を抑制する。
- × c 2型糖尿病患者に対する食生活指導では栄養バランスに注意する必要があるが、特にタンパク質の摂取を勧めたりはしない。
- × d 脂質異常症に対する食生活指導では飽和脂肪酸の摂取を控えるように勧める。

答え ab

- a、○ b 口腔内写真から化学療法で用いた抗悪性腫瘍薬の副作用として口内炎が多数みられる。口腔内の疼痛で食事摂取が困難なため、現時点では冷奴やゼリーが摂取しやすいと考えられる。
- × c、× d 口内炎が多数みられるため、クッキーやグレープフルーツは摂取しにくい。

【問題 90】 特別用途食品および保健機能食品の概念図を示す。



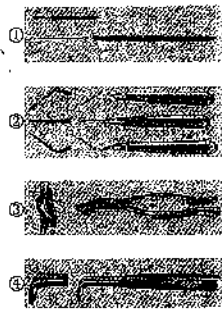
①と②の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 病者用食品 特定保健用食品
- b 病者用食品 えん下困難者用食品
- c 特定保健用食品 病者用食品
- d 特定保健用食品 機能性表示食品

答え d

- × a、× b、× c 病者用食品やえん下困難者用食品は特別用途食品であるが、保健機能食品ではない。
- d 保健機能食品には特定保健用食品や栄養機能食品、機能性表示食品がある、特定保健用食品は特別用途食品の1つである。

【問題 91】 65歳の男性。下顎右側第二大臼歯がう蝕症第4度と診断され、抜歯を行うことになった。器具の写真(別冊午前No.35)を別に示す。準備するのはどれか。2つ選べ。



- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

答え bd

- × a ①は消息子(ゾンデ)である。組織内に挿入して、病変の位置、広がりを診査するために用いる。切開・排膿時に準備する。
- b ②はルートチップピックである。残根の抜去に用いる。う蝕症第4度は残根状態なので、ルートチップピックを準備する。
- × c ③は上顎大臼歯用の抜歯鉗子である。
- d ④は下顎大臼歯用の抜歯鉗子である。下顎右側第二大臼歯の抜歯なので下顎大臼歯用抜歯鉗子を準備する。

【問題 92】 47歳の女性。上顎右側中切歯を白くしたいとの希望で来院した。根管処置後、ウォーキングブリーチ法を行うことになった。器具の写真(別冊午前No.36)を別に示す。準備するのはどれか。2つ選べ。

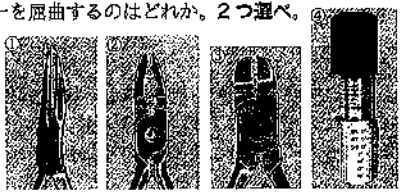


- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

答え ac

- a ①はラバーダム防湿用器具一式で、ウォーキングブリーチ法でもオフィスブリーチ法でも準備する。
- × b ②はLEDの照射器で、オフィスブリーチ法で用いる。
- c ③は紙練板とプラスチックパチュラである。薬剤を歯の中に貼付後、ポリカルボキシレートセメントで仮封するので、紙練板とプラスチックパチュラを使用する。
- × d ④はホームブリーチ法で用いるカスタムトレーである。

【問題 93】 矯正歯科治療に使用する器具の写真(別冊午前No.37)を別に示す。角線のワイヤーを屈曲するのはどれか。2つ選べ。



- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

答え cd

- × a ①はハウプライヤーである。結紮やアーチワイヤー着脱時の把持に用いる。
- × b ②はバンドカンタリングプライヤーである。矯正用バンド(帯環)の成形に用いる。
- c ③はツイードアーチベンディングプライヤーである。角線のワイヤーを屈曲するのに用いる。
- d ④はアーチフォーマーである。角線のワイヤーを屈曲してアーチワイヤーを製作するのに用いる。

【問題 94】 歯科用石膏の練和時に、混水比を大きくした場合の物性と変化の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

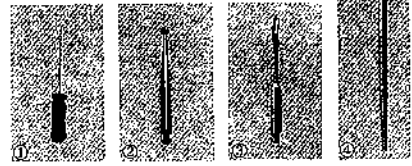
- a 圧縮強さ ———— 大きくなる
- b 硬化時間 ———— 短くなる
- c 硬化膨張 ———— 小さくなる
- d 練和物の流動性 ———— 大きくなる

答え cd

- × a 歯科用石膏の混水比を大きくすると、圧縮強さは小さくなる。
- × b 歯科用石膏の混水比を大きくすると、硬化時間は長くなる。
- c 歯科用石膏の混水比を大きくすると、硬化膨張は小さくなる。
- d 歯科用石膏の混水比を大きくすると、練和物の流動性は大きくなる。

【問題 95】 47 歳の女性。下顎左側第二大臼歯の疼痛を主訴として来院した。検査の結果、直接抜髄を行うことになった。器具の写真（別冊午前 No. 38）を別に示す。
冠部歯髄の除去に使用するのはいずれか、1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

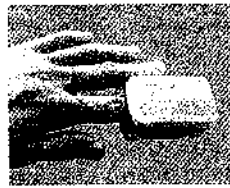


【問題 96】 患者水平位診療時の患者の位置設定は、①下顎の咬合平面を床面と垂直になるようにし、体全体では、②肩と膝が同じ高さになり、足と③腰が下がる姿勢にする。妊娠中の場合は、④右側を下にした側臥位にするといふ。
下線部分で正しいのはどれか、2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

【問題 97】 全身管理用機器を装着している写真（別冊午前 No. 39）を別に示す。
発光するのはどれか、2つ選べ。

- a 紫外光
- b 青色光
- c 赤外光
- d 赤色光

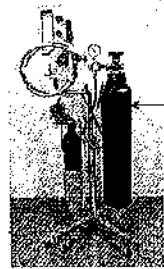


【問題 98】 歯科診療時における体動のコントロールで、器具によるものと比べて徒手によるものの利点はどれか、2つ選べ。

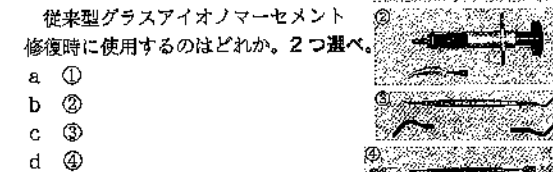
- a 力の強い人にも対応できる。
- b 突発的な動きに対応できる。
- c 協力状態に合わせて調節できる。
- d マンパワーの省力化がはかれる。

【問題 99】 22 歳の女性。う蝕処置を希望して来院した。軽度の歯科恐怖症があり、吸入鎮静法を行うことになった。吸入鎮静器の写真（別冊午前 No. 40）を別に示す。
矢印で示すボンベに充填されているのはどれか、1つ選べ。

- a 空気
- b 酸素
- c 亜酸化窒素
- d 二酸化炭素



【問題 100】 器具・器材の写真（別冊午前 No. 41）を別に示す。
従来型ガラスアイオノマーセメント修復時に使用するのはいずれか、2つ選べ。



- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

答え b

- × a ① はリーマーである。根管拡大に使用する。
- b ② はラウンドバーである。髓腔穿孔や冠部歯髄の除去に使用する。
- × c ③ はピーソーリーマーである。根管拡大、根管形成に使用する。
- × d ④ はクレンザーである。歯根部歯髄の除去に使用する。

答え bc

- × a、○ b、○ c 患者水平位診療時の患者の位置設定は、上顎の咬合平面を床面と垂直になるようにする。体全体では、患者の肩と膝とを同じ高さにして、足と腰が下がる姿勢にする。
- × d 妊娠後期になると、仰臥位で悪心、冷汗、血圧低下、嘔吐、顔面蒼白、呼吸困難（仰臥位低血圧症候群）がみられることがある。増大した妊娠子宮が下大静脈を圧迫し、静脈還流血量が減少するため生じるので、左側を下にした側臥位にするとう回復する。

答え cd

- × a、× b、○ c、○ d 写真はパルスオキシメータである。酸化ヘモグロビンは赤外光を吸収し、還元ヘモグロビンは赤色光を吸収する。そこでパルスオキシメータは赤外光と赤色光の LED を発光させ、赤外光と赤色光の透過光比率から酸化ヘモグロビンおよび還元ヘモグロビンを求め、その比率から動脈血酸素飽和度を測定している。

答え bc

- × a 徒手による体動のコントロールは介助者の力に左右されるので、力の強い人には対応できない。
- b、○ c 徒手による体動のコントロールは、心理的な変化をとらえやすいので、協力状態に合わせて調節が可能で、突発的な動きに対応できる。
- × d マンパワーの省力化がはかれるのは、器具による体動のコントロールである。

答え b

- × a、○ b、× c、× d 写真は笑気吸入鎮静器で、酸素のボンベの色は矢印で示す黒色で、亜酸化窒素（笑気）のボンベの色は灰色、または灰色と一部青色と決められている。

答え bc

- × a ① は LED 照射器である。光硬化型ガラスアイオノマーセメント修復や光重合型コンポジットレジン修復時に使用する。
- b ② は CR シリンジである。コンポジットレジン（CR）やガラスアイオノマーセメントをシリンジから注入することができる。
- c ③ はセメント充填器である。これを用いてセメントを充填する。
- × d ④ はステンレスパチュラである。ガラスアイオノマーセメントの練和にはプラスチックパチュラを用いる。

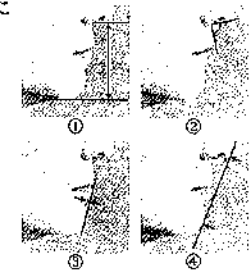
【問題 101】 58 歳の男性。部分床義歯製作のため、付加型シリコーンゴム印象材を用いて精密印象採得を行うことになった。精密印象採得に先立ちブロックアウトの準備をするよう指示を受けた。器具・器材の写真（別冊午前 No. 42）を別に示す。
準備するのはどれか、1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



【問題 102】 矯正歯科診断時の評価に用いる側貌写真（別冊午前 No. 43）を別に示す。
写真と評価する内容の組合せで正しいのはどれか、2つ選べ。

- a ① ——— 口唇形態
- b ② ——— 犬歯の位置
- c ③ ——— 過蓋咬合
- d ④ ——— 口唇の突出度



【問題 103】 8 歳の女児。歯の痛みを主訴として来院した。自閉スペクトラム症と診断され、感覚過敏があるという。
歯科診療時の対応として適切なのはどれか、2つ選べ。

- a 負の強化を行う。
- b 視覚的な情報を活用する。
- c 毎回同じユニットを使用する。
- d 治療中イヤーマフは外してもらおう。

答え cd

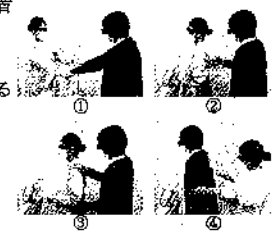
- × a ① は下顔面高（鼻下点～オトガイ部最下点）である。上顔面（眉間点～鼻下点）との比率が 1 : 1 になるのが標準である。
- × b ② は鼻柱口唇角（鼻翼下縁と上唇のなす角）である。上顎中切歯の前後的な位置関係、唇傾斜、舌傾斜の評価に利用される。
- c ③ はオトガイ唇溝の深さである。過蓋咬合によるオトガイ唇溝のくびれやオトガイ筋の緊張の評価に利用される。
- d ④ はエラスティックライン（E-ライン；鼻尖とオトガイ部に接する線）である。口唇の突出度の評価に利用される。

答え bc

- × a 負の強化（抑制、拘束、叩く、罰など）を行うのは適切ではない。
- b 自閉スペクトラム症患者には、写真や絵カードなどの視覚的な情報を活用する方法（TEACCH 法）が有効である。
- c 決められた通りの手順を行うことによって、患者は次に何をするのか予め理解できる。したがって、毎回同じユニットを使用すると、不適応行動が抑制できる。
- × d 感覚過敏があるので、治療中はイヤーマフをしてもらい、周囲の音が聞こえないようにする。

【問題 104】 診療室内における患者対応時の写真（別冊午前 No. 44）を別に示す。
視覚に障害がある患者に対する誘導はどれか、1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え c

- × a、× b、○ c、× d 視覚障害患者に対する誘導では、写真③のように誘導者が患者の半歩先を歩くよう横並びに位置し、誘導者の肘や肩を握ってもらおうのがよいとされる。

【問題 105】 全部床義歯を製作するため、咬合採得を行うことになった。器具・器材の写真（別冊午前 No. 45）を別に示す。
準備するのはどれか、2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え bd

- × a ① は印象用コンパウンドで、義歯の印象採得時の筋圧形成に用いる。
- b ② はホットプレート（ろう堤形成板、咬合床形成用ヘラ）で咬合床のろう堤を平らにするのに用いる。咬合採得時の仮想咬合平面の設定時や咬合高径の決定時に用いる。
- × c ③ は即時重合レジン（ピンク、歯肉色）である。義歯床の修理する際に用いる。
- d ④ は咬合平面測定板である。咬合採得時の仮想咬合平面の設定時に用いる。

答え ad

【問題 106】 口腔筋機能療法（MFT）の目的はどれか、2つ選べ。

- a 口腔習癖の改善
- b 唾液分泌の促進
- c 誤嚥性肺炎の予防
- d 筋圧の不均衡の是正

- a、○ d 口腔習癖の改善や筋圧の不均衡の是正は口腔筋機能療法（MFT）の目的である。
- × b 唾液分泌の促進は唾液腺マッサージなどの目的であるが、口腔筋機能療法（MFT）の目的ではない。
- × c 誤嚥性肺炎の予防は摂食嚥下障害に対する訓練（間接訓練や直接訓練）の目的であるが、口腔筋機能療法（MFT）の目的とはいえない。

【問題 107】 7歳の男児。口から食べ物がこぼれることを主訴として来院した。脳性麻痺と診断されており、食事中にむせがあるという。摂食嚥下指導で保護者に食事介助の方法を指導した。指導時の写真(別冊午前 No. 46)を別に示す。

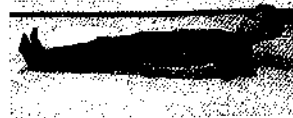


この介助の目的はどれか。1つ選べ。

- a 舌の挙上
- b 顎位の安定
- c 嚥嚥の防止
- d 咀嚼力の増強

【問題 108】 摂食嚥下障害に対する間接訓練について説明している時の写真(別冊午前 No. 47)を別に示す。

この訓練により機能の改善が期待できるのはどれか。2つ選べ。



- a 口唇閉鎖
- b 舌骨挙上
- c 軟口蓋挙上
- d 食道入口部開大

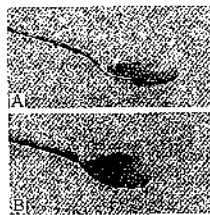
【問題 109】 3歳の女児。かたいものを口から出すことを主訴として保護者と来院した。幼児食になってから気になるようになったという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 48)を別に示す。



適切な対応はどれか。1つ選べ。

- a 咬合力検査を行う。
- b 舌小帯の切除を行う。
- c セファロ分析を行う。
- d 食事を離乳食に戻してもらう。

【問題 110】 68歳の男性。食事の時うまく飲み込めないことを主訴として来院した。食塊形成ができず、口腔や咽頭に食物が残留し、嚥下後の誤嚥がみられる。診断の結果、直接訓練を行うことになった。訓練に使用する食材の側方からの写真(別冊午前 No. 49A)および斜め上方からの写真(別冊午前 No. 49B)を別に示す。



この訓練はどれか。1つ選べ。

- a 脱感作
- b 嚥下の訓練
- c 鼻咽腔閉鎖訓練
- d 筋のリラクゼーション

答え b

× a、○ b、× c、× d 脳性麻痺ではてんかん発作などの不随意運動がみられ、呼吸と嚥下の協調不全による誤嚥や窒息、異常パターンの出現や食べこぼしなどがみられる。指導時の写真から顎位を支えながらスプーンを用いて食事介助の方法を指導しているため、顎位の安定が目的と考えられる。

答え b d

× a 口唇閉鎖は口唇訓練により改善が期待できる。
○ b、○ d 写真ではシャキア法を行っている。シャキア法は頸部にある喉頭挙上にかかわる筋(舌骨上筋群など)を対象とした筋機能訓練で、舌骨挙上と食道入口部開大の改善が期待できる。
× c 軟口蓋挙上はブローイングにより改善が期待できる。

答え a

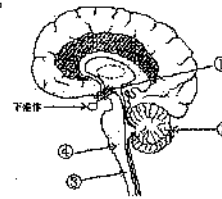
○ a 口腔内写真から乳歯列が完成しており、とくに問題はみられないが、かたいものを口から出すことから咬合力が弱いことが疑われるため、咬合力検査を行うことが適切である。
× b 口腔内写真から舌小帯に異常はみられないため、舌小帯の切除を行う必要はない。
× c 3歳児のため現時点でセファロ分析を行う必要はない。
× d 3歳児に対してかたいものが咬めないからといって、食事を離乳食に戻すことはない。

答え b

× a、× c、× d 脱感作や鼻咽腔閉鎖訓練、筋のリラクゼーションは摂食嚥下障害に対する間接訓練のため、食材を用いる必要はない。
○ b 訓練に使用する食材から、摂食嚥下障害に対して直接訓練を行うと考えられる。

32-B 午後問題解説

【問題 1】 中枢神経を模式図に示す。体温調節中枢が存在するのはどれか。1つ選べ。



- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

答え a

○ a ①は間脳にある視床下部で、自律神経の統合中枢である。体温調節中枢、摂食中枢、飲水中枢、睡眠中枢が存在する。
× b ②は小脳で、平衡感覚や筋の緊張調節など全身運動の統合を行う。
× c ③は脊髄で、反射の中枢である。
× d ④は延髄で、生命維持に重要な自律神経の中枢で、呼吸中枢、嚥下中枢、血圧調節中枢、唾液分泌中枢、嘔吐中枢、心臓抑制中枢、血管運動中枢などが存在する。

【問題 2】 歯周病の原因となる可能性のある歯の形態異常はどれか。1つ選べ。

- a 盲孔
- b 斜切痕
- c 介在結節
- d 中心結節

答え b

× a 盲孔とは、上顎側切歯にみられる深い舌側面窩で、う蝕の好発部位である。
○ b 斜切痕とは、上顎側切歯の基底結節を斜めに横切って歯頸線に伸びる深い溝で、歯周病の原因となる可能性がある。
× c 介在結節とは、上顎第一小臼歯の近心辺縁隆線にみられる結節である。
× d 中心結節とは、下顎小臼歯の咬合面にみられる結節である。中心結節が破折して歯髓炎が生じることがある。

【問題 3】 細胞質基質で行われる代謝はどれか。1つ選べ。

- a 解糖
- b β酸化
- c 電子伝達系
- d クエン酸回路

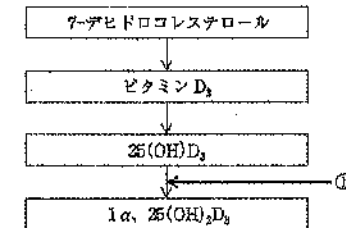
答え a

○ a 細胞質基質で行われる代謝は解糖である。
× b、× c、× d 脂肪酸のβ酸化、電子伝達系、クエン酸回路はミトコンドリア内で行われる代謝である。

【問題 4】 活性型ビタミンD₃の合成過程を図に示す。

①の反応が行われるのはどれか。1つ選べ。

- a 肝臓
- b 小腸
- c 腎臓
- d 皮膚



答え c

× a、○ c、× d 7-デヒドロコレステロールは、まず皮膚で紫外線を受けるとビタミンD₃に変換される。ビタミンD₃は血流に乗って肝臓に移動し、25-水酸化酵素によって側鎖の25位の炭素が水酸化を受けて25(OH)D₃に変換される。さらに腎臓に移行し、1α-水酸化酵素によって水酸化を受けて1α、25(OH)₂D₃となり、活性型ビタミンD₃としてはたらく。活性型ビタミンD₃は「1α、25(OH)₂D₃」と表記され、腎臓でのみ産生される。
× b 活性型ビタミンD₃は小腸を標的細胞とする。

【問題 5】 純漿液腺はどれか。1つ選べ。

- a 頬腺
- b 後舌腺
- c 耳下腺
- d 舌下腺

答え c

× a 頬腺は小唾液腺の1つで、混合腺である。
× b 後舌腺は小唾液腺の1つで、粘液腺である。
○ c 耳下腺は大唾液腺の1つで、純漿液腺である。
× d 舌下腺は大唾液腺の1つで、混合腺である。

【問題 6】 頭頸部矢状断の解剖写真(別冊午後 No. 1)を別に示す。

矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

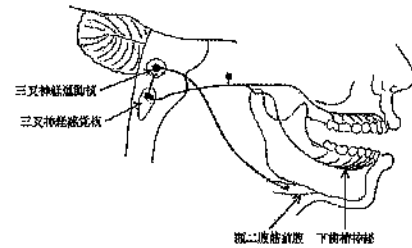
- a 声帯
- b 舌骨
- c 口蓋垂
- d 喉頭蓋



答え d

× a、× b、× c、○ d 矢印は喉頭蓋である。喉頭蓋が喉頭口に蓋をすることで、気管への食物の流入(誤嚥)を防止できる。

【問題 7】 顎反射の経路を模式図に示す。



この反射の役割はどれか。1つ選べ。

- a 嚥下時の閉口
- b 咀嚼力の調節
- c 下顎安静位の維持
- d 口腔内の傷害防止

答え d

- × a 嚥下時の閉口動作は閉口反射である。
- × b 咀嚼力の調節に役立つのは、下顎張反射である。
- × c 下顎安静位の維持に必要なのは、下顎張反射である。
- d 模式図では三叉神経感覚核と三叉神経運動核の2か所でシナプス伝達されているので、多シナプス反射である閉口反射を示している。閉口反射は口腔領域に強い傷害が加わることに對する防御反応であり、口腔内の傷害防止に役立つ。

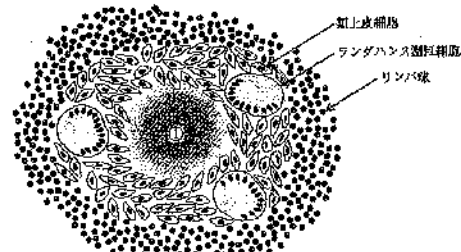
【問題 8】 β-ラクタム系抗菌薬の作用機序はどれか。1つ選べ。

- a 細胞膜障害
- b 核酸合成阻害
- c 細胞壁合成阻害
- d タンパク質合成阻害

答え c

- × a 細胞膜障害を示すのは、ポリミキシンB、ポリエン系抗真菌薬である。
- × b 核酸合成阻害を示すのは、ニューキノロン系抗菌薬である。
- c β-ラクタム系抗菌薬の作用機序は細胞壁合成阻害で、ペニシリン系やセフェム系抗菌薬が該当する。
- × d タンパク質合成阻害薬には、30S阻害を示すアミノグリコシド系抗菌薬とテトラサイクリン系抗菌薬、50S阻害を示すマクロライド系抗菌薬とクロラムフェニコールがある。

【問題 9】 結核結節を模式図に示す。



①にみられるのはどれか。1つ選べ。

- a 壊死
- b 血腫
- c 膿瘍
- d 粘液貯留

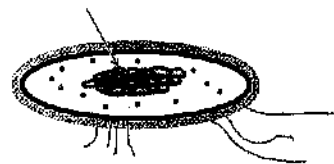
答え a

- a ①は結核結節にみられる乾酪壊死である。
- × b 血腫とは、血管から出血した血液が体内の組織内に溜まって排出されない状態のことである。皮下血腫、動脈血腫、硬膜下血腫などに分けられる。
- × c 膿瘍とは、多数の好中球が組織内に限局し、その中心部が融解壊死を起して膿が溜まった状態である。
- × d 粘液貯留がみられるのは、粘液瘤（粘液嚢胞、ガマ腫〈ラヌーラ〉、Blandin-Nuhn 腺嚢胞〈前舌腺嚢胞〉など）である。

【問題 10】 細菌の模式図を示す。

矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

- a 鞭毛
- b 核様体
- c リボ多糖
- d リボソーム



答え b

- × a 鞭毛は鞭毛よりも細く短い。菌の生体への付着、菌同士の結合に関与する。
- b 矢印が示すのは核様体である。
- × c リボ多糖 (LPS) は、主としてグラム陰性菌細胞壁の外膜に存在する多糖のことである。LPSは内毒素 (エンドトキシン) の構成成分である。
- × d リボソームは細胞質全域に均等に分布する多数の球状のものである。タンパク質合成を行う中心的な装置である。

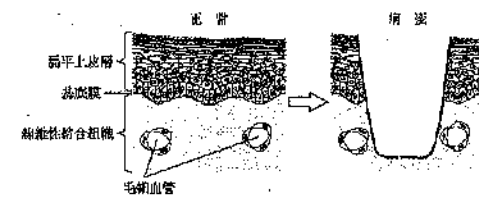
【問題 11】 抗悪性腫瘍薬はどれか。1つ選べ。

- a アスピリン
- b シスプラチン
- c アセトアミノフェン
- d ジクロフェナクナトリウム

答え b

- × a アスピリンは酸性非ステロイド性抗炎症薬の1つである。
- b シスプラチンは抗悪性腫瘍薬の1つである。
- × c アセトアミノフェンは解熱鎮痛薬で、酸性非ステロイド性抗炎症薬が使用できない小児や妊婦にも使用できるのが特徴である。
- × d ジクロフェナクナトリウムは酸性非ステロイド性抗炎症薬の1つである。

【問題 12】 口腔粘膜の病変を模式図 (細胞性反応を除く) に示す。



矢印の変化はどれか。1つ選べ。

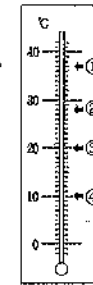
- a 潰瘍形成
- b 色素沈着
- c 上皮肥厚
- d 水疱形成

答え a

- a 病変の模式図では、扁平上皮層、基底膜、線維性結合組織の一部が欠損しているため、潰瘍を形成している。
- × b 色素沈着とは、色素細胞から過剰に分泌されたメラニン色素が表皮や上皮に沈着して黒変することである。
- × c 上皮肥厚とは、上皮の細胞数が増加 (過形成) している状態である。
- × d 水疱形成とは、上皮中または上皮下に水分が溜まった状態である。

【問題 13】 温度計を概略図に示す。

「日本薬局方通則」に定義される医薬品の保存温度で、「常温」に含まれるのはどれか。1つ選べ。



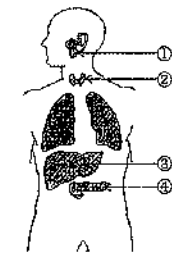
- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

答え c

- × a ①は37°Cで「微温 (30~40°C)」に含まれる。
- × b ②は28°Cで「室温 (1~30°C)」に含まれる。
- c ③は20°Cで「常温 (15~25°C)」および「室温」に含まれる。
- × d ④は10°Cで「冷所 (15°C以下の場所)」に含まれる。

【問題 14】 器官を模式図に示す。

多形腺腫の好発部位はどれか。1つ選べ。



- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

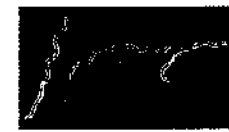
答え a

- a ①は耳下腺である。多形腺腫の好発部位は耳下腺と口蓋腺である。
- × b ②は甲状腺である。
- × c ③は肝臓である。
- × d ④は脾臓である。

【問題 15】 口腔微生物の電子顕微鏡写真 (別冊午後 No. 2) を別に示す。

正しいのはどれか。1つ選べ。

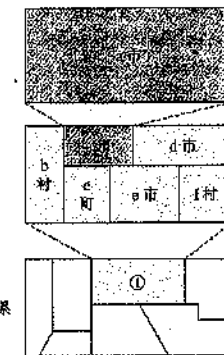
- a *Candida albicans*
- b *Treponema denticola*
- c *Streptococcus mutans*
- d *Porphyromonas gingivalis*



答え b

- × a *Candida albicans* は孢子と菌糸で構成される真菌である。
- b *Treponema denticola* は写真のようにらせん状の運動性菌である。
- × c *Streptococcus mutans* はグラム陽性連鎖球菌である。
- × d *Porphyromonas gingivalis* はグラム陰性桿菌である。

【問題 16】 医療法に基づく医療計画で設定されたA県の医療圏を圏に示す。



①の医療圏の説明で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 一般病床数の設定
- b 高度専門的医療を提供
- c 住民に密着した医療サービスを提供
- d 保健所の所轄区域設定に考慮する区域

答え ad

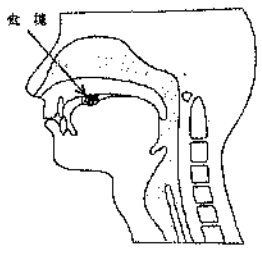
- a、○ d ①の医療圏は二次医療圏のため、一般病床数の設定や保健所の所轄区域設定に考慮する区域である。
- × b 高度専門的医療を提供するのは三次医療圏である。
- × c 住民に密着した医療サービスを提供するのは一次医療圏である。

次の文を読み、〔問題 17〕、〔問題 18〕に答えよ。
 被験者 A、被験者 B の 2 名から刺激唾液 10mL を採取し、0.1N の乳酸を滴定して唾液 pH が 7.0 から 6.0 に変化するのに使用した乳酸量を測定した。その結果、乳酸量は被験者 A は 0.3mL、被験者 B は 0.7mL であった。

〔問題 17〕 使用した乳酸量に違いが生じた要因はどれか。1つ選べ。
 a 緩衝作用
 b 抗菌作用
 c 潤滑作用
 d 歯質保護作用

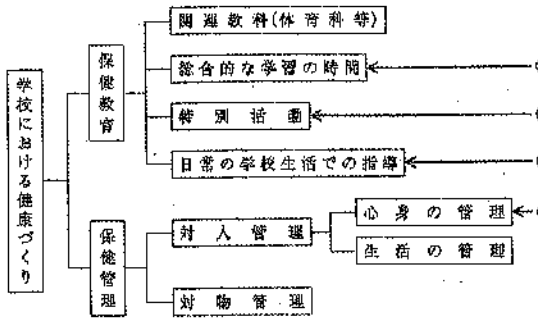
〔問題 18〕 使用した乳酸量の違いに作用した唾液成分はどれか。1つ選べ。
 a ムチン
 b 重炭酸塩
 c 糖タンパク質
 d ラクトフェリン

〔問題 19〕 摂食嚥下運動の過程におけるある時期を図に示す。該当するのはどれか。1つ選べ。
 a 準備期
 b 口腔期
 c 咽頭期
 d 食道期



〔問題 20〕 歯科衛生士法に規定されている業務従事者届出は何年ごとか。1つ選べ。
 a 1年
 b 2年
 c 3年
 d 5年

〔問題 21〕 A 県歯科衛生士会に同県 B 市の小学校から歯と口の健康週間に各学年へ歯科講話をしてほしいとの依頼があり、発達段階に合わせた歯科講話を行った。学校保健の領域構造を図に示す。



本活動の該当する領域はどれか。1つ選べ。
 a ① b ② c ③ d ④

答え a
 × a、× b、× c、× d 0.1N の乳酸を滴定して唾液 pH が 7.0 から 6.0 に変化するまでの滴定量を求めるう蝕活動性試験を Dreizen テストという。Dreizen テストは唾液の緩衝作用を評価する。

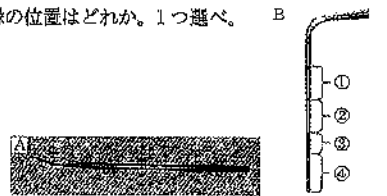
答え b
 × a ムチンは潤滑作用や保護作用、保水作用、凝集作用がある。
 × b 使用した乳酸量の違いに作用したのは唾液の緩衝作用である。唾液の重炭酸塩やリン酸塩は緩衝作用がある。
 × c 唾液の糖タンパク質にはさまざまなものがあるが、緩衝作用はない。
 × d ラクトフェリンは抗菌作用がある。

答え a
 × a 口腔内で食物をかみ砕き、食塊にまとめるステージである。
 × b 食塊を咽頭に運ぶステージである。
 × c 咽頭へ到達した食塊を食道まで送り込むステージである。
 × d 食塊が食道から胃に移送されるまでのステージである。

答え b
 × a、○ b、× c、× d 「歯科衛生士法」に、「業務に従事する歯科衛生士は 2 年ごとに、12 月 31 日現在の氏名、住所、年齢、業務従事先の所在地・名称などを翌年の 1 月 15 日までに就業地の都道府県知事に届け出ること」が義務付けられている。

答え b
 × a ①は「生きる力」をはぐくむことが該当する。
 × b ②は学級活動・ホームルーム活動や学校行事、児童会活動、生徒会活動、クラブ活動などが含まれるため、歯と口の健康週間に各学年へ歯科講話を行うことは学校保健の領域構造では「特別活動」に該当する。
 × c ③は保健室における個別指導や日常の学校生活での指導である。
 × d ④は健康観察や健康診断(保健調査)、健康相談、保健指導、疾病予防、生活習慣の形成、救急措置などが含まれる。

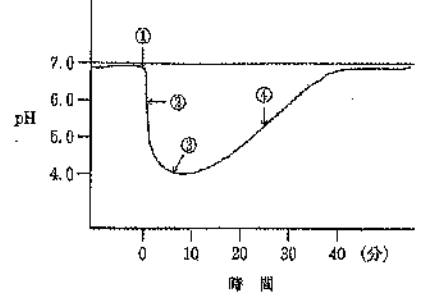
〔問題 22〕 歯周疾患検診で使用されるプローブの写真(別冊午後 No. 3A)とその先端の拡大写真(別冊午後 No. 3B)を別に示す。このプローブを用いて歯周ポケットを測定したとき、スコア 1 とされる歯肉辺縁の位置はどれか。1つ選べ。



a ①
 b ②
 c ③
 d ④

〔問題 23〕 10 歳の男児。脳性麻痺のため、福祉サービスを受給している。このサービスの根拠法はどれか。1つ選べ。
 a 児童福祉法
 b 母子保健法
 c 身体障害者福祉法
 d 発達障害者支援法

〔問題 24〕 プラークに精質を加えた場合の pH 変化を図に示す。



正しいのはどれか。1つ選べ。
 a ①ではキシリトールを加えた。
 b ②ではプラーク中細菌が酸を産生している。
 c ③では①に比べて pH が 3.0 低下している。
 d ④では唾液中のアミラーゼが作用している。

〔問題 25〕 25 歳の女性。口臭が気になることを主訴として来院した。口臭検査を行った結果、明らかな口臭があるが、原因となる器質的異常、疾患は認められなかった。歯科医師から口臭予防についての指導を行うよう指示を受けた。適切な指導はどれか。2つ選べ。
 a 舌苔の除去
 b フッ化物洗口剤の励行
 c 塩化亜鉛洗口剤の利用
 d 乳酸アルミニウム配合歯磨剤の利用

答え c
 × a、× b、○ c、× d CPI の 2013 年改訂法の Pocket Scores は表のとおりである。

Score 0	所見なし
Score 1	浅い歯周ポケット (4~5mm)
Score 2	深い歯周ポケット (6mm 以上)

CPI プローブを用いて歯周ポケットを測定したとき、スコア 1 とされる歯肉辺縁の位置は 4~5mm のため、③(3.5~5.5mm)となる。

答え a
 ○ a 10 歳の男児で脳性麻痺のため受給できる福祉サービスは「児童福祉法」と「障害者総合支援法」に基づくサービスである。「児童福祉法」に基づくサービスは、「障害児通所支援」、「障害児入所支援」、「障害児相談支援」があり、「障害者総合支援法」に基づくサービスは、自立支援給付と地域生活支援事業で構成されている。自立支援給付は、「介護給付」、「訓練等給付」、「自立支援医療」、「補装具」、「相談支援」に分類され、地域生活支援事業には、「移動支援」、「意思疎通支援」、「日常生活用具の給付」、「日中一時支援」などがある。
 × b 「母子保健法」は養育医療が規定されている。
 × c 「身体障害者福祉法」は身体上の障害がある 18 歳以上の者が対象である。
 × d 「発達障害者支援法」は身体障害や知的障害、精神障害の者が対象である。

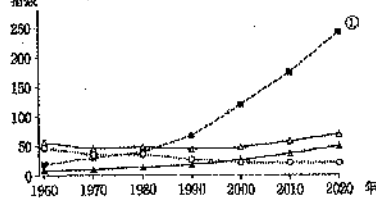
答え b
 × a ①ではグルコース(ブドウ糖)を加えている。
 ○ b ②ではプラーク中細菌が酸を産生しているため、プラークの pH が低下している。
 × c ③では①に比べて pH が 3.0 低下している。
 × d ④では唾液中の緩衝作用(重炭酸イオンやリン酸イオン)が関与している。

答え a c
 ○ a 口臭検査の結果、明らかな口臭があり生理的口臭が疑われるため、舌苔の除去を行う。
 × b フッ化物洗口剤はう蝕予防のために励行する。
 ○ c 生理的口臭が疑われるため、塩化亜鉛洗口剤を利用する。
 × d 乳酸アルミニウム配合歯磨剤は象牙質知覚過敏に対して利用する。

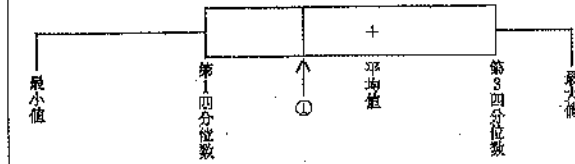
【問題 26】 我が国の各種人口指数の年次推移を図に示す。

①はどれか。1つ選べ。

- a 老年化指数
- b 従属人口指数
- c 年少人口指数
- d 老年人口指数



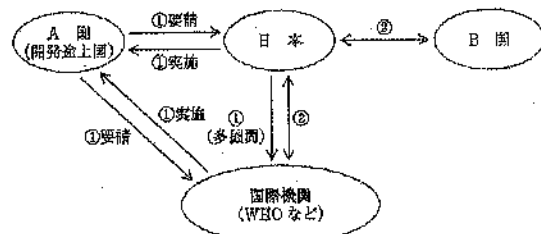
【問題 27】 順序尺度データの散布度の数値的位置関係を図に示す。



①はどれか。1つ選べ。

- a 期待値
- b 実測値
- c 中央値
- d 偏差値

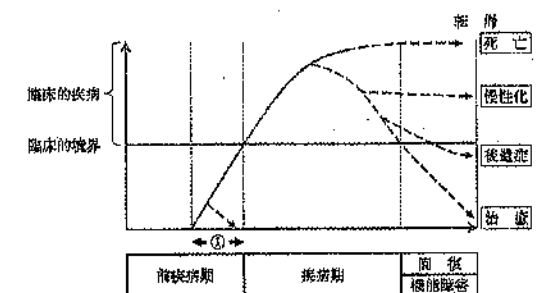
【問題 28】 国際保健活動の仕組みの概要を図に示す。



①はどれか。1つ選べ。

- a 共同
- b 共助
- c 協力
- d 交流

【問題 29】 疾病の自然史を模式図に示す。



①で行うのはどれか。2つ選べ。

- a 小窩裂溝填塞
- b 初期う蝕治療
- c フッ化物洗口
- d フッ化ジアンミン銀塗布

【問題 30】 歯磨剤の基本成分を作用別に表に示す。

パラベンが該当するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

作用	成分
①	リン酸水素カルシウムなど
②	グリセリンなど
③	アルギン酸ナトリウムなど
④	安息香酸ナトリウムなど

- 答え a
- a ①は老年化指数である。
 - ×b 従属人口指数は「△」である。
 - ×c 年少人口指数は「○」である。
 - ×d 老年人口指数は「▲」である。

- 答え c
- ×a、×b、○c、×d 順序尺度では代表値として中央値(①)が用いられ、散布度として四分位範囲などが用いられる。最頻値を用いることもある。

- 答え c
- ×a、×b、○c 先進国(日本)が開発途上国(A国)に国際協力(①)する。
 - ×d 先進国同士が国際交流(②)する。

- 答え ac
- a、○c 疾病の自然史の模式図から①は「前疾病期」のため、小窩裂溝填塞やフッ化物洗口を行う。小窩裂溝填塞は第一次予防であり第二次予防でもある。
 - △b、△d 疾病の自然史の模式図から①は「前疾病期」であるが臨床的境界を超えていないため、発症はしていないが疾病が生じていると考えれば早期発見・即時処置となり、初期う蝕治療やフッ化ジアンミン銀塗布を行う。

- 答え d
- ×a ①はリン酸水素カルシウムが成分のため研磨剤である。
 - ×b ②はグリセリンが成分のため湿潤剤(保湿剤)である。
 - ×c ③はアルギン酸ナトリウムが成分のため粘結剤である。
 - d ④は安息香酸ナトリウムが成分のため保存剤である。パラベンは保存剤のため④に該当する。

【問題 31】 歯科診療所の医療安全管理体制で歯科衛生士が担当できるのはどれか。2つ選べ。

- a 医薬品安全管理責任者
- b 医薬品安全管理責任者
- c 医療放射線安全管理責任者
- d 特別管理産業廃棄物管理責任者

- 答え abd (厚労省発表：複数を正解として採点する。理由：複数の正解があるため。)
- a、○b、○d 歯科診療所の医療安全管理体制で歯科衛生士が担当できるのは、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、特別管理産業廃棄物管理責任者のほかに、医療機器安全管理責任者である。
 - ×c 医療放射線安全管理責任者は、診療用放射線の安全管理について知識と経験を有する医師、歯科医師でなければならない。

【問題 32】 周術期における入院患者への口腔機能管理の目的はどれか。2つ選べ。

- a 審美性の向上
- b 合併症の予防
- c 術後回復の促進
- d 生活習慣の改善

- 答え bc
- ×a 入院患者への口腔機能管理で審美性は向上しない。
 - b、○c 周術期における入院患者への口腔機能管理の目的は、合併症の予防、誤嚥性肺炎の予防、創部感染の予防、放射線治療中の口内炎の改善、術後回復の促進、入院期間の短縮などである。
 - ×d 入院患者への口腔機能管理で生活習慣は改善しない。

【問題 33】 患者の権利の行使を支援するのはどれか。2つ選べ。

- a アドボカシー
- b パターナリズム
- c コンプライアンス
- d インフォームド・アセント

- 答え ad
- a 患者アドボカシーとは、患者の権利を主張し、その権利の行使を支援することである。
 - ×b パターナリズム(医療父権主義)とは、慈悲深い父親としての医師が無知な子どもとみなされた患者に代わって治療方針を決定する「医師中心の医療」のことである。
 - ×c 医療現場でのコンプライアンスとは、患者が医療従事者の指示どおり治療を受けることである。
 - d インフォームド・アセントとは、小児を対象とした治療を行う場合、小児の理解度に応じてわかりやすく説明し、その内容について被験者である小児自身が納得して、同意を得ることをいう。小児患者の権利の行使を支援している。インフォームド・コンセントは法的に義務付けられているが、インフォームド・アセントは法的には義務付けられていない。

【問題 34】 70歳の男性。舌の異常を主訴として来院した。6か月前から気付いていたが放置していたところ、1か月前から違和感を自覚するようになったという。確定診断のために局所麻酔下で処置を行った。初診時の口腔内写真(別冊午後No.4A)と処置後に行った操作の写真(別冊午後No.4B)を別に示す。矢印で示す容器に入っているのはどれか。1つ選べ。

- a 滅菌水
- b エタノール
- c ブドウ糖液
- d ホルマリン液



- 答え d
- ×a、×b、×c、○d 舌の病変の確定診断のために局所麻酔下で処置を行っており、組織診を行ったと判断できる。組織診で得られた検体はホルマリン液に浸漬するため、矢印で示す容器に入っているのはホルマリン液である。滅菌水やエタノール、ブドウ糖液は考えられない。

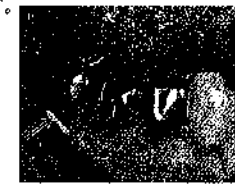
【問題 35】 放射線感受性が最も高いのはどれか。1つ選べ。

- a 肺
- b 骨髄
- c 軟骨
- d 唾液腺

- 答え b
- ×a、○b、×c、×d 一般的に細胞分裂が活発な細胞は放射線感受性が高い傾向にある。選択肢で放射線感受性が最も高いのは造血幹である骨髄である。

【問題 36】 63歳の女性。下顎右側第一大臼歯部の歯肉腫脹と排膿を主訴として来院した。エックス線画像検査を行う直前の口腔内写真(別冊午後No.5)を別に示す。矢印で示す材料を用いる理由はどれか。1つ選べ。

- a 可塑性
- b 接着性
- c 造影性
- d 生体親和性



- 答え c
- ×a、○c、×d 写真を見ると、写真で示す材料はガッタパーチャポイントであり、歯肉腫脹部にガッタパーチャポイントが挿入されていることがわかる。この状態でエックス線画像検査が行われることより、ガッタパーチャポイントのエックス線造影性を利用して歯肉腫脹の原因を検査すると考えられる。ガッタパーチャポイントには可塑性や生体親和性があるが、検査に用いる理由ではない。
 - ×b ガッタパーチャポイントに接着性はない。

【問題 37】 83歳の男性。食事時のむせがあるとのことで、家族の協力のもと摂食嚥下機能検査を行った。検査時の写真(別冊午後No.6)を別に示す。



- この検査の特徴はどれか。2つ選べ。
- a 侵襲が軽度である。
 - b 造影剤が必要である。
 - c エックス線被曝がある。
 - d 訪問診療で利用できる。

答え a d

- a、○d 摂食嚥下機能検査時の写真から、嚥下内視鏡検査を行っていることが判断できる。嚥下内視鏡検査は、患者に侵襲を与えないように注意しながら行う検査であり、訪問診療で利用できることが特徴である。
- ×b、×c、摂食嚥下機能検査のうち、造影剤が必要であり、エックス線被曝があるのは嚥下造影検査である。

【問題 38】 ある操作中の口腔内写真(別冊午後No.7)を別に示す。使用できるのはどれか。2つ選べ。



- a 0.2% NaF
- b 6.0% NaOCl
- c 15.0% EDTA
- d 30.0% H₂O₂

答え b c

- ×a 0.2% NaFは0.2% フッ化ナトリウムであり、洗口に用いる。
- b、○c 6.0% NaOClは6.0% 次亜塩素酸ナトリウム溶液であり、有機質溶解作用がある。15.0% EDTAは無機質溶解作用がある。6.0% NaOClおよび15.0% EDTAは根管洗浄に用いられるが、写真を確認すると根管洗浄中であると判断されるため、b cが正しい。
- ×d 30.0% H₂O₂は30.0% 過酸化水素水であり、歯の漂白に用いる。

【問題 39】 48歳の男性。上顎左側側切歯の色が気になることを主訴として来院した。1年前に子供の頭がぶつかったが、痛みが引いたのでそのまま放置していたところ、最近になって変色してきたという。初診時の口腔内写真(別冊午後No.8)を別に示す。変色の理由で考えられるのはどれか。1つ選べ。



- a 加齢変化
- b 歯髄壊死
- c 抗菌薬の服用
- d 食品に含まれる色素

答え b

- ×a、×c 加齢変化や抗菌薬の服用で1歯のみの変色が生じるとは考えにくい。
- b 写真をみると、上顎左側側切歯のみが褐色に変色しており、1年前に外傷の既往がある。したがって、変色の原因として歯髄壊死が考えられる。
- ×d 食品に含まれる色素では歯の表面の着色が生じる。写真から着色とは考えにくい。

【問題 40】 41歳の女性。昨年より上顎左側中切歯に違和感を覚えていたが、この3か月くらいで急に歯が伸びてきたように感じるとして来院した。慢性歯周炎と診断され、歯周基本治療後の再評価で、歯周外科治療を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午後No.9A、B、C)と歯周外科処置時の口腔内写真(別冊午後No.9D)を別に示す。



- この部位の歯周炎の発現に影響を与えたと考えられる局所性修飾因子はどれか。1つ選べ。
- a 根面溝
 - b 槌状根
 - c エナメル真珠
 - d エナメル突起

答え a

- a 歯周ポケットが深いのが、歯周外科処置時の写真をみると、ポケットに一致する部位に根面溝が存在する。根面溝はポケットの深化に関与する局所性修飾因子であり、aが正しい。
- ×b、×c、×d 槌状根やエナメル真珠、エナメル突起は大臼歯に好発し、本症例の写真からも否定される。

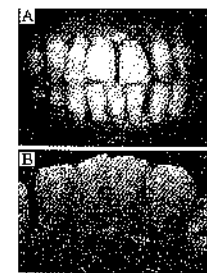
【問題 41】 歯内治療に使用する水酸化カルシウム製剤の用途はどれか。2つ選べ。

- a 仮封
- b 覆髄
- c 根管消毒
- d 歯髄鎮痛消炎

答え b c

- ×a 仮封に水酸化カルシウム製剤は使用されない。
- b、○c 水酸化カルシウム製剤は覆髄や根管消毒に用いられる。
- ×d 水酸化カルシウム製剤に歯髄鎮痛消炎作用はない。

【問題 42】 45歳の男性。下顎歯肉の腫脹と出血を主訴として来院した。検査の結果、慢性歯周炎と診断され、歯周治療を行うことになった。初診時の正面観の口腔内写真(別冊午後No.10A)と下顎前歯部舌側面観の口腔内写真(別冊午後No.10B)を別に示す。

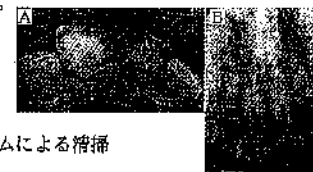


- 歯周基本治療開始前に説明すべきリスクはどれか。2つ選べ。
- a 歯根破折
 - b 食片圧入
 - c 歯の変色
 - d 象牙質知覚過敏症

答え b d

- ×a、○b、×c、○d 下顎歯肉の腫脹を主訴としており、写真から歯石の沈着がみられる。歯周基本治療を行うと歯肉退縮が生じると考えられ、治療後に食片圧入や象牙質知覚過敏症のリスクがある。したがって、歯周基本治療開始前に食片圧入や象牙質知覚過敏症のリスクを説明すべきである。歯周基本治療により歯根破折や歯の変色が生じるリスクがあるとは考えにくい。

【問題 43】 17歳の男子。上顎左側中切歯の歯冠破折を主訴として来院した。直前に自転車で転倒したという。自発痛はない。浸潤麻酔後、直接覆髄を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午後No.11A)とエックス線画像(別冊午後No.11B)を別に示す。最初に行うのはどれか。1つ選べ。

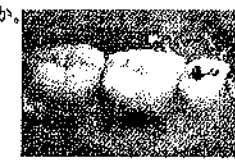


- a 覆髄薬の貼付
- b 露髄部の止血
- c ラバーダム防湿
- d 次亜塩素酸ナトリウムによる清掃

答え c

- ×a、×b、○c、×d 外傷による露髄に対して、浸潤麻酔後、直接覆髄を行う症例である。直接覆髄は無菌的に行う必要があるため、浸潤麻酔後に、まずラバーダム防湿を行うべきである。その後、露髄面を次亜塩素酸ナトリウムで清掃し、露髄部の止血後、覆髄薬の貼付を行う。したがって、cが正しい。

【問題 44】 73歳の女性。舌感の不良を主訴として来院した。診察の結果、下顎左側第一大臼歯の舌側根面う蝕に対してグラスアイオノマーセメント修復を行うことになった。術前の口腔内写真(別冊午後No.12)を別に示す。



- この材料を選択した理由はどれか。2つ選べ。
- a 審美性の向上
 - b 防湿の困難性
 - c 機械的強度の維持
 - d 二次う蝕予防効果の期待

答え b d

- ×a、×c、○d 根面う蝕に対して考えられる修復法として、グラスアイオノマーセメント修復やコンポジットレジン修復が挙げられる。コンポジットレジンと比較して、グラスアイオノマーセメントはフッ素徐放性があり、二次う蝕予防効果が期待できるため、本症例でグラスアイオノマーセメントを選択した理由と考えられる。グラスアイオノマーセメント修復はコンポジットレジン修復と比較して、審美性の向上や機械的強度の維持に優れているわけではない。
- b 写真をみると舌側の歯肉縁付近の根面う蝕であり、ラバーダム防湿が困難であると考えられる。コンポジットレジン修復と比較して、グラスアイオノマーセメント修復は防湿が困難な症例に有利であるため、本症例でグラスアイオノマーセメントを選択した理由と考えられる。

【問題 45】 70歳の男性。下顎左側臼歯部欠損による咀嚼困難を主訴として来院した。診察の結果、部分床義歯を製作することになった。義歯の精密印象採得前に行ったある操作の口腔内写真(別冊午後No.13)を別に示す。



- 矢印で示す操作の目的はどれか。1つ選べ。
- a 印象圧を均等にする。
 - b 印象時の沈下を防ぐ。
 - c 印象材の流動性をよくする。
 - d 印象体の撤去を容易にする。

答え d

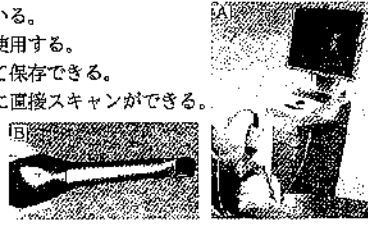
- ×a、×b、×c、○d 歯間部の鼓形空隙に印象材が入り込むと、印象体撤去時の変形や撤去が困難になることがある。そこで、写真のように歯間部のアンダーカット部分を寒天印象材でブロックアウトして、印象体の撤去を容易にする。

【問題 46】 47歳の男性。上顎右側第一大臼歯部のクラウン破折による咀嚼困難を主訴として来院した。診察の結果、CAD/CAMシステムによるクラウンを製作することになった。支台歯形成後に行った印象採得時の写真（別冊午後No.14A）と使用した器具の写真（別冊午後No.14B）を別に示す。

従来の精密印象採得法と比較したこの方法の特徴はどれか。

2つ選べ。

- a 咬合採得材を用いる。
- b 専用のトレーを使用する。
- c 画像データとして保存できる。
- d 口腔内を光学的に直接スキャンができる。



【問題 47】 67歳の男性。上顎前歯部の欠損による審美不良を主訴として来院した。ブリッジ製作過程における作業用模型の写真（別冊午後No.15A、B）と試適時の口腔内写真（別冊午後No.15C）を別に示す。

口腔内での操作の目的はどれか。2つ選べ。

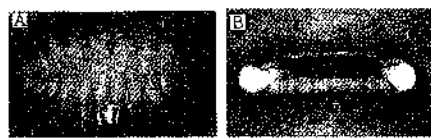
- a 咬合の採得
- b 適合性の確認
- c 咬合関係の検査
- d 口唇豊隆度の調整



【問題 48】 70歳の男性。上下顎義歯の不適合による咀嚼困難を主訴として来院した。診察の結果、上下顎全部床義歯を製作することになった。完成した上下顎新義歯試適時の口腔内写真（別冊午後No.16A）とその後に行ったある検査時の口腔内写真（別冊午後No.16B）を別に示す。

この検査で確認できるのはどれか。1つ選べ。

- a 義歯床縁の長さ
- b 義歯の咬合接触状態
- c 義歯床研磨面の適合状態
- d 義歯床粘膜面の適合状態



【問題 49】 8歳の男児。舌下面の異常を主訴として来院した。1年前から同症状の再発と消失を繰り返しているという。腫瘍は無痛性である。初診時の口腔内写真（別冊午後No.17）を別に示す。

本病変の内部に含まれるものとして考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 血液
- b 粘液
- c 角化物
- d 線維組織



答え cd

× a 写真の方法は、CAD/CAMシステムの直接法である。咬合採得材を用いず、口腔内スキャナーで咬合関係を記録する。

× b CAD/CAMシステムの直接法では、印象採得をしないので、トレーは使用しない。

○ c 口腔内スキャナーで歯列を撮影するので、画像データとして保存できる。

○ d 口腔内スキャナーは、口腔内を光学的に直接スキャンができる。

答え bc

× a 咬合の採得は文字どおり咬合採得材を用いて行う。咬合採得はブリッジのメタルフレームを用いて行うものではない。

○ b 口腔内でブリッジのメタルフレームを試適するのは、ブリッジの適合性を確認するためである。

○ c 上顎前歯部ブリッジのメタルフレームは写真Cのように下顎前歯部と咬合接触する。したがって、試適時に咬合関係を検査する。

× d 唇側の前装部は製作していないので、口唇豊隆度を調整することはない。

答え d

× a 義歯床縁の長さは口腔内の視診で確認する。

× b 義歯の咬合接触状態は咬合紙を用いて検査する。

× c 義歯床研磨面の適合状態は検査しない。

○ d 上下顎義歯の間にロールワッテを介在させている点が、この検査のポイントである。義歯床粘膜面の適合検査は咬合時と咬合していない時（手圧時あるいは上下顎義歯の間にロールワッテを介在させた時）に行う。

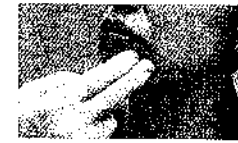
答え b

× a、○ b、× c、× d 舌下面の異常、同症状の再発と消失を繰り返している、無痛性腫瘍という点から、前舌腺嚢胞（Blandin Nuhn 腺嚢胞）と考えられる。粘液層の1つで、病変内部に粘液を含む。

【問題 50】 45歳の女性。左側顔面の疼痛を主訴として来院した。1か月前から数日に1~2回の頻度で激しい疼痛が出現するようになったという。疼痛はいつも十数秒で消失するという。顔貌は左右対称で異常はみられず、開口障害や顎下リンパ節の腫脹は認められない。歯科医師が顔面を触診したところ、強い疼痛を訴えた。触診時の写真（別冊午後No.18）を別に示す。

疼痛の原因はどれか。1つ選べ。

- a 副神経
- b 顔面神経
- c 三叉神経
- d 迷走神経



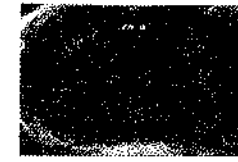
答え c

× a、× b、○ c、× d 触診時の写真では、オトガイ孔での圧痛（Valleixの3圧痛点の1つ）を訴えている。1か月前から数日に1~2回の頻度で激しい疼痛が出現し、十数秒で消失すること（発作性の電撃様疼痛）、左右対称で異常はみられない（片側性）ということから、三叉神経痛が疑われる。

【問題 51】 72歳の女性。口腔内の白斑を心配して歯科訪問診療の依頼があった。多発性脳梗塞により2年前から自宅で寝たきりとなっているという。検査の結果、真菌の感染であることがわかった。初診時の口腔内写真（別冊午後No.19）を別に示す。

対処法はどれか。1つ選べ。

- a 切除
- b 口腔清掃
- c 消炎鎮痛剤の内服
- d ステロイド含有軟膏の塗布



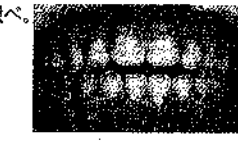
答え b

× a、○ b 真菌の感染ということから口腔カンジダ症と考えられる。口腔カンジダ症の治療法は、切除ではなく、抗真菌薬の局所的・全身的投与、口腔清掃・義歯洗浄などの口腔衛生状態の改善である。× c 口腔カンジダ症では、ほとんど疼痛がないので、消炎鎮痛剤は処方しない。× d 口腔カンジダ症の患部にステロイド含有軟膏を塗布すると、かえって悪化する。

【問題 52】 8歳の男児。前歯部で食物が噛み切れないことを主訴として来院した。初診時の口腔内写真（別冊午後No.20）を別に示す。

考えられる原因はどれか。1つ選べ。

- a 咬唇癖
- b 咬爪癖
- c 弄唇癖
- d 舌突出癖



答え d

× a、× c 咬唇癖や弄唇癖では上唇より下唇を咬んだり吸ったりすることが多く、その場合、下顎前歯の舌側傾斜などがみられる。× b 咬爪癖では正中離開や叢生がみられることがある。○ d 前歯部で食物が噛み切れないことを訴えているが、写真から前歯部開咬がみられる。前歯が舌側傾斜しているようにはみえず、舌突出癖による前歯部開咬が考えられる。

【問題 53】 マイナスのアーチレングスディスクレパンシーで生じる不正咬合はどれか。1つ選べ。

- a 叢生
- b 過蓋咬合
- c 下顎前突
- d 空隙歯列弓

答え a

○ a、× d アーチレングスディスクレパンシーは、歯の排列に利用可能な歯列弓長（アベイラブルアーチレングス）から歯の排列に必要な歯列弓長（リクワイアードアーチレングス）を減じた値で示される。マイナスのアーチレングスディスクレパンシーでは叢生、プラスのアーチレングスディスクレパンシーでは空隙歯列弓が生じる。× b、× c 過蓋咬合や下顎前突はアーチレングスディスクレパンシーで生じるものではない。

【問題 54】 作業用模型上で製作された装置の口腔側面観の写真（別冊午後No.21A）と側面観の写真（別冊午後No.21B）を別に示す。

この装置の使用目的はどれか。1つ選べ。

- a 保隙
- b 保定
- c 歯列の側方拡大
- d 切歯の舌側移動



答え b

× a、○ b、× c、× d 写真を見ると、製作された装置はホーレータイプリテーナーであることがわかる。ホーレータイプリテーナーは保定を目的として使用する装置である。保隙や歯列の側方拡大、切歯の舌側移動を目的として使用するものではない。

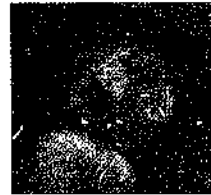
【問題 55】 20歳の男性。前歯の咬み合わせが気になることを主訴として来院した。患者の初診時の口腔内写真（別冊午後No.22）を別に示す。

- 口腔内の特徴はどれか。2つ選べ。
a オーバーバイトは過大である。
b 大臼歯関係はAngle II級である。
c 上顎右側中切歯は唇側傾斜を示す。
d オーバージェットはマイナスである。



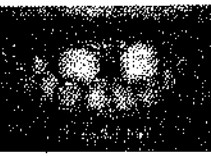
【問題 56】 10歳の男児。学校歯科健康診断で歯の形態異常を指摘され来院した。診察の結果、下顎左側第二小臼歯に突起を認められた。口腔内写真（別冊午後No.23）を別に示す。

- 矢印で示すのはどれか。1つ選べ。
a 白傍結節
b 中心結節
c カラベリー結節
d プロトスタイリッド



【問題 57】 8歳の男児。歯並びが気になることを主訴として来院した。初診時の口腔内写真（別冊午後No.24）を別に示す。

- 上顎中切歯間の空隙の原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。
a 前歯部叢生
b 正中埋伏過剰歯
c 中切歯の異所萌出
d 側切歯の先天性欠如

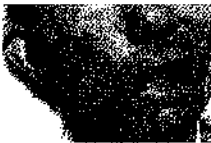


【問題 58】 摂食嚥下障害により長期にわたり経口による栄養摂取が不可能と考えられる患者で消化管に問題がない場合、適切な経管栄養法はどれか。1つ選べ。

- a 胃瘻
b 経鼻経管栄養
c 中心静脈栄養
d 末梢静脈栄養

【問題 59】 71歳の男性。脳梗塞後の後遺症があるという。麻痺症状がみられる写真（別冊午後No.25）を別に示す。

- この症状を起こすのはどれか。1つ選べ。
a 顔面神経
b 三叉神経
c 舌下神経
d 迷走神経



答え a b
○a 写真から下顎前歯の露出が少なく、オーバーバイトが過大であることがわかる。
○b 写真で上下顎両側第一大臼歯の関係をみると、Angle II級であることがわかる。
×c 写真から上顎右側中切歯は舌側傾斜を示している。
×d 写真から反対咬合ではなく、オーバージェットはプラスであることがわかる。

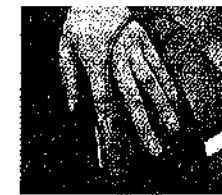
答え b
×a、×d 白傍結節は乳臼歯や大臼歯の近心頬側面に出現する異常結節であり、プロトスタイリッドは下顎の白傍結節である。
○b 中心結節は臼歯の咬合面中央部に出現する異常結節である。写真を見ると、矢印で示す突起は中心結節である。
×c カラベリー結節は上顎第一大臼歯や第二乳臼歯の近心口蓋側咬頭口の歯側面に出現する異常結節である。

答え b d
×a、○b、×c、○d 正中離開の原因として正中埋伏過剰歯や側切歯の先天性欠如、上唇小帯の付着異常などが挙げられる。写真を見ると上顎両側中切歯間に空隙がみられるが、側切歯が萌出していない。したがって、本症例の空隙の原因として正中埋伏過剰歯や側切歯の先天性欠如の可能性が考えられる。前歯部叢生や中切歯の異所萌出は考えられない。

答え a
○a 摂食嚥下障害により長期にわたり経口による栄養摂取が不可能と考えられる患者で消化管に問題がない場合は胃瘻を適用する。
×b 摂食嚥下障害により短期間、経口による栄養摂取が不可能と考えられる患者で消化管に問題がない場合は経鼻経管栄養を適用する。
×c 摂食嚥下障害により長期にわたり経口による栄養摂取が不可能と考えられる患者で消化管に問題がある場合は中心静脈栄養を適用する。
×d 摂食嚥下障害により短期間、経口による栄養摂取が不可能と考えられる患者で消化管に問題がある場合は末梢静脈栄養を適用する。

答え a
○a 麻痺症状がみられる写真から右側の麻痺症状がみられる。顔面神経は表情筋を支配しているため、顔面神経麻痺と考えられる。
×b 三叉神経は顔面や口腔内の知覚を支配している。
×c 舌下神経は舌の運動を支配している。
×d 迷走神経は咽頭や喉頭、食道の知覚や運動を支配している。

【問題 60】 バイタルサインの測定に用いられる機器の写真（別冊午後No.26）を別に示す。



- この機器で測定するのはどれか。1つ選べ。
a SpO2
b 血圧
c 体温
d 呼吸数

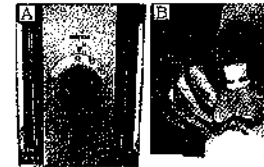
答え a
○a SpO2や脈拍数はパルスオキシメータで測定できる。
×b 血圧は血圧測定器で測定する。
×c 体温は体温計で測定する。
×d 呼吸数は聴診などで測定するが、現在はパルスオキシメータで呼吸数を測定できるものがある（写真のパルスオキシメータでは測定できない）。

【問題 61】 8歳の男児。保護者がうまく歯磨きできないことを主訴として来院した。重度脳性麻痺を有する。口腔内診査の結果、臼歯部咬合面にう蝕の多発が認められた。

- 原因と考えられるのはどれか。1つ選べ。
a 口呼吸
b 舌突出嚥下
c 咬反射の残存
d 象牙質形成不全

答え c
×a 口呼吸がみられると上顎前歯の唇側傾斜や前歯部開咬がみられる。
×b 舌突出嚥下が残存することで上下顎前歯の唇側傾斜や前歯部開咬となる。
○c 咬反射の残存により口腔清掃が困難となり、う蝕が多発していると考えられる。
×d 重度脳性麻痺で象牙質形成不全がみられることはない。

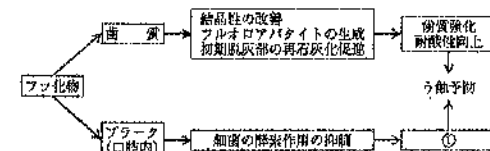
【問題 62】 薬物的行動調整法で使用する器械の一部の写真（別冊午後No.27A）と装着時の写真（別冊午後No.27B）を別に示す。



- 適応となるのはどれか。1つ選べ。
a 口呼吸のある患者
b 体動が激しい患者
c 当日の処置本数が多い患者
d 治療に理解はあるが恐怖心が強い患者

答え d
×a 亜酸化窒素吸入鎮静法は鼻から亜酸化窒素を吸入させるため、口呼吸のある患者は適応とはならない。
×b 体動が激しい患者は鼻マスクの維持が困難なため、亜酸化窒素吸入鎮静法は適応とはならない。
×c 当日の処置本数が多い患者は処置に時間がかかるため、亜酸化窒素吸入鎮静法は適応とはならない。
○d 亜酸化窒素吸入鎮静法は治療に理解はあるが恐怖心が強い患者が適応である。

【問題 63】 フッ化物によるう蝕予防機構を図に示す。



- ①はどれか。1つ選べ。
a 細胞壁の破壊
b 酸産生の抑制
c 歯石形成の阻害
d プラークの分解

答え b
×a、×c、×d 細胞壁の破壊や歯石形成の阻害、プラークの分解はフッ化物の作用ではない。
○b フッ化物はプラーク中の細菌の酵素作用を抑制することで、酸の産生を抑制するため、う蝕予防に利用される。したがって、①はbが該当する。

【問題 64】 歯周治療のメンテナンスで評価するのはどれか。2つ選べ。

- a 歯の動揺度
b 小帯付着位置
c 歯石の付着程度
d 修復物の適合度

答え a c
○a、×b、○c、×d 歯周治療のメンテナンスで評価するものとして、歯の動揺度や歯石の付着程度などが挙げられる。小帯付着位置や修復物の適合度は歯周治療のメンテナンスで評価するものではない。

【問題 65】 30歳の女性。歯垢染め出し後の口腔内写真（別冊午後No.28）を別に示す。



- PHPで評価したときの上顎前歯のスコアはどれか。1つ選べ。
a 2
b 3
c 4
d 5

答え b
×a、○b、×c、×d PHPは歯面を5分割してプラークの付着状況を評価するものである。上顎前歯は「1」の唇側を評価する。写真を見ると、上顎前歯のスコアは3である。

【問題 66】 40歳の女性。地域の歯周疾患検診で歯科受診を勧められて来院した。初診時の口腔内写真（別冊午後 No. 29）を別に示す。
矢印で示す付着物の主成分はどれか。1つ選べ。



- a 硝酸カルシウム
- b 乳酸カルシウム
- c リン酸カルシウム
- d シュウ酸カルシウム

答え c
× a、× b、○ c、× d 写真をみると、矢印で示す付着物は歯石であると判断できる。歯石の主成分はリン酸カルシウムである。硝酸カルシウムや乳酸カルシウム、シュウ酸カルシウムは歯石の主成分ではない。

【問題 67】 62歳の男性。初診時と歯周基本治療後の歯周組織検査結果の一部を表に示す。

初診時

舌	AL(mm)	5	5	4	4	3	4
側	PPD(mm)	6	4	4	4	3	4
歯種		47		46			
頰	PPD(mm)	5	4	4	4	3	4
側	AL(mm)	4	5	6	4	3	4

歯周基本治療後

舌	AL(mm)	5	4	4	4	3	4
側	PPD(mm)	4	3	3	4	3	3
歯種		47		46			
頰	PPD(mm)	4	3	3	4	3	3
側	AL(mm)	4	4	4	4	3	4

AL: アタッチメントレベル
PPD: プロービングポケット深さ

付着の獲得が認められたのはどれか。2つ選べ。
a 下顎第一大臼歯頰側遠心部 b 下顎第一大臼歯舌側中央部
c 下顎第二大臼歯舌側中央部 d 下顎第二大臼歯頰側近心部

答え cd
× a、× b、○ c、○ d 歯周治療によって付着の獲得が認められると、アタッチメントレベルが減少する。初診時と比較して歯周基本治療後でアタッチメントレベルが減少している部位は下顎第二大臼歯舌側中央部および下顎第一大臼歯頰側近心部であるため、付着の獲得が認められたと判断できる。下顎第一大臼歯頰側遠心部および下顎第一大臼歯舌側中央部はアタッチメントレベルに変化がない。

【問題 68】 フッ化物ゲル歯面塗布法の手順の写真（別冊午後 No. 30）を別に示す。



正しい順序はどれか。1つ選べ。
a ③ → ④ → ① → ②
b ③ → ② → ④ → ①
c ④ → ② → ① → ③
d ④ → ③ → ② → ①

答え c
× a、× b、○ c、× d フッ化物ゲル歯面塗布法の手順として、まず、歯面清掃（④）を行う。次に防湿を行い歯面を乾燥（②）させ、フッ化物の塗布（①）を行う。最後に口腔内に残った余剰のフッ化物を除去（③）する。したがって、正しい順序はcである。

【問題 69】 38歳の女性。臼歯部歯肉の違和感を主訴として来院した。食物がはさまったり、フロッシング時に出血したりするという。初診時の口腔内写真（別冊午後 No. 31A）とエックス線画像（別冊午後 No. 31B）を別に示す。



修復物にみられる、主訴に関連する所見はどれか。2つ選べ。
a 破折
b 脱離
c 辺縁不適合
d 接触点の不良

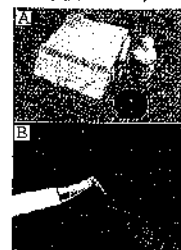
答え cd
× a、× b 口腔内写真やエックス線画像から、修復物の破折や脱離は考えられない。
○ c 臼歯部歯肉の違和感があり、フロッシング時に出血することから、歯肉の炎症が生じていると考えられる。エックス線画像でインレー辺縁不適合がみられ、主訴に関連する所見と考えられる。
○ d 臼歯部歯肉の違和感があり、食物がはさまることから、食片圧入が生じていると考えられる。主訴に関連する所見として、インレーの接触点の不良が考えられる。

【問題 70】 36歳の女性。う蝕と歯周病の治療と管理を希望して来院した。初診時の口腔内検査結果の一部を表に示す。
歯科衛生士による口腔清掃指導とPTCで改善が期待できるのはどれか。2つ選べ。

検査項目	検査値
① O'LearyのPCR	65%
② BOP率	25%
③ 4mm以上のアタッチメントレベルを有する歯の数	8
④ DMF歯数	8

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

【問題 71】 歯周基本治療後のメンテナンス時に使用する機器の写真（別冊午後 No. 32A）と作動中の写真（別冊午後 No. 32B）を別に示す。



矢印で示すものに含まれるのはどれか。1つ選べ。
a ケイ酸ナトリウム
b 過ホウ酸ナトリウム
c 炭酸水素ナトリウム
d ラウリル硫酸ナトリウム

答え ab
○ a ①は口腔清掃の指標である。歯科衛生士による口腔清掃指導で改善が期待できる。
○ b ②は歯肉の炎症の指標である。歯科衛生士による口腔清掃指導とPTCで改善が期待できる。
× c 4mm以上のアタッチメントレベルを改善させるには歯周外科治療が必要であると考えられる。したがって、歯科衛生士による口腔清掃指導とPTCで③の改善は期待できない。
× d DMF歯数は口腔清掃指導とPTCで改善されることはない。したがって、歯科衛生士による口腔清掃指導とPTCで④の改善は期待できない。

【問題 72】 う蝕リスクが高いのはどれか。1つ選べ。

- a 狭心症
- b B型肝炎
- c 鉄欠乏性貧血
- d Sjögren syndrome

答え c
× a、× b、○ c、× d 写真の機器はエアポリッシャー（歯面清掃器）であり、炭酸水素ナトリウムやグリシンのパウダーが用いられている。したがって、矢印で示すものに含まれるのは炭酸水素ナトリウムと考えられる。ケイ酸ナトリウムや過ホウ酸ナトリウム、ラウリル硫酸ナトリウムはエアポリッシャーに用いられない。

答え d
× a、× b、× c 狭心症やB型肝炎、鉄欠乏性貧血はう蝕リスクが高いとはいえない。
○ d Sjögren syndromeでは唾液が減少するため、う蝕リスクが高い。

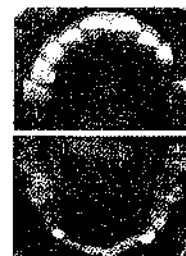
【問題 73】 55歳の男性。特定健康診査を受診した。結果の一部を図に示す。

① 喫煙: 20本/日
② BMI: 40
③ HbA1c: 7.5%
④ 尿タンパク: 検出なし

歯周病の宿主因子となるのはどれか。2つ選べ。
a ①
b ②
c ③
d ④

答え bc
× a ①をみると、1日に20本の喫煙習慣がある。喫煙は歯周病の環境因子である。
○ b ②をみると、BMIが40であり肥満と考えられる。肥満は食生活にも影響されるため、歯周病の環境因子とされているが、宿主因子とする考えもある。厚労省はbを正解としている。
○ c ③をみると、HbA1cが7.5%であり、糖尿病のコントロールが不良であると考えられる。糖尿病は全身疾患であり、歯周病の宿主因子である。
× d ④の尿タンパクは腎機能に関連するもので、歯周病のリスク因子とは考えられない。

【問題 74】 10歳の女児。う蝕予防処置を希望して保護者と来院した。歯科医師からフッ化物歯面塗布を行うよう指示を受けた。口腔内写真（別冊午後 No. 33）を別に示す。



歯面塗布が効果的なのはどれか。1つ選べ。
a 下顎左側乳犬歯
b 上顎右側中切歯
c 下顎右側第一小臼歯
d 上顎左側第一大臼歯

答え c
× a、× b、○ c、× d フッ化物歯面塗布が効果的なのは、フッ化物の取り込み量が多い萌出直後の歯である。本症例は10歳の女児であり、写真から歯面塗布が効果的なのは下顎右側第一小臼歯と考えられる。下顎左側乳犬歯や上顎右側中切歯、上顎左側第一大臼歯は歯面塗布が効果的とはいえない。

【問題 75】 7歳の男児。下顎第一大臼歯に小窩裂溝填塞を行った後、メンテナンスに移行した。

メンテナンス時に確認するのはどれか。2つ選べ。
a 咬頭干渉
b 清掃状況
c 裂溝形態
d 填塞材脱落

答え bd
× a 小窩裂溝填塞を行った直後に咬合を確認するため、咬頭干渉をメンテナンス時に確認する必要はないと考えられる。
○ b、○ d 小窩裂溝填塞を行った後、清掃状況の悪化や填塞材の脱落が生じるとう蝕リスクが高まるため、メンテナンス時に清掃状況や填塞材脱落を確認する。
× c 小窩裂溝填塞によって裂溝が填塞されるため、裂溝形態をメンテナンス時に確認する必要はないと考えられる。

【問題 76】 顎模型上でピエゾ式超音波スケーラーを用いた歯肉縁上歯石除去時のチップの写真(別冊午後 No. 34)を別に示す。適切なものはどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④



【問題 77】 8歳の女児。う蝕予防を希望して保護者と来院した。歯科医師の指示により家庭でのフッ化物洗口(毎日法)を指導することになった。

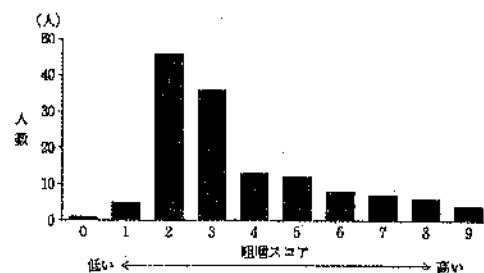
使用するフッ化ナトリウム濃度(フッ化物イオン濃度)はどれか。2つ選べ。

- a 0.01% (45ppmF)
b 0.05% (225ppmF)
c 0.1% (450ppmF)
d 0.2% (900ppmF)

【問題 78】 80歳の男性。認知症高齢者の日常生活自立度判定基準ランクはⅢaである。デイサービス利用時に義歯を洗面台に置き忘れることが多いという。施設職員から相談を受けた。

- 適切な指導内容はどれか。2つ選べ。
a 義歯を使わないように指示してください。
b 食後の口腔ケア時に義歯を外さないでください。
c 家族に義歯保管用ケースを携行させるよう指示してください。
d かかりつけ歯科で義歯にネームプレートを埋入してもらってください。

【問題 79】 オーラルフレイル対策として地域の後期高齢者を対象に咀嚼状態を調査した。咀嚼スコアの結果をグラフに示す。



- 必要な対策はどれか。1つ選べ。
a 専門医による対応
b オーラルフレイルの講話
c かかりつけ歯科医での対応
d 口腔機能向上事業のための人材育成

【問題 80】 地域保健事業で歯周病の予防を進めるためのPDCAサイクルのうち、Pはどれか。1つ選べ。

- a 事業評価
b 情報提供
c 健康づくり計画
d 教育内容の見直し

【問題 81】 85歳の男性。特別養護老人ホームへ入居しており、入浴・更衣以外は概ね自立して生活をしている。口腔状態を表に示す。

【口腔状態】

現在歯	3 3
歯肉状態	残存歯部分に歯肉炎が認められる
歯垢付着	残存歯、義歯ともに磨き残しあり
歯石沈着	下顎舌側部に沈着あり 義歯にも沈着あり(下顎前歯部)
TCI (Tongue Coating Index)	81%
BDR指標	B: a1, D: a, R: a
口腔乾燥	少し認められる

歯科衛生士が施設職員へ行う歯科保健指導内容として適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 歯科訪問診療受診を勧める。
b 義歯の着脱・管理は施設職員が行う。
c 義歯洗浄剤を使用しているか確認する。
d 1日3回施設職員が口腔ケアを実施する。

【問題 82】 20歳の女性。幼少期より定期歯科健康診査を欠かしたことがなかった。歯肉の形で気になるところがあるという。受診時の口腔内写真(別冊午後 No. 35)を別に示す。

- 矢印で示すのはどれか。1つ選べ。
a 肥大
b クレフト
c ステップリング
d メラニン色素沈着

【問題 83】 ストレスに対する身体面の反応はどれか。2つ選べ。

- a 血圧の上昇
b 食欲の低下
c 不安の増強
d 飲酒量の増加

【問題 84】 頭頸部癌に対する放射線治療の早期にみられる有害事象はどれか。2つ選べ。

- a う蝕
b 嚥下痛
c 味覚障害
d 顎骨骨髓炎

【問題 85】 3歳の男児。3歳児健康診査の際にかみ合わせの指摘を受けたという。保健センターで個別保健指導を行うことになった。歯科健康診査の結果を表に示す。

歯	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
の	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
状	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40

むし歯の有無: ① A B C₁ C₂
 要治療のむし歯: ② あり(木)
 歯の汚れ: きれい・少ない・多い
 歯肉・粘膜: 異常なし・あり()
 かみ合わせ: よい・経過観察

管理事項
 ・歯肉の腫れがみられる。
 ・舌の付け根に白い点がある。
 ・歯の裏には歯垢がたまっている。

歯科保健指導として適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 専門医に相談しましょう。
b 見つけしだい、注意してあげましょう。
c 取り外し式の矯正装置を使ってみましょう。
d 指をしゃぶらなかつたら褒めてあげましょう。

【問題 81】 85歳の男性。特別養護老人ホームへ入居しており、入浴・更衣以外は概ね自立して生活をしている。口腔状態を表に示す。

【口腔状態】

現在歯	3 3
歯肉状態	残存歯部分に歯肉炎が認められる
歯垢付着	残存歯、義歯ともに磨き残しあり
歯石沈着	下顎舌側部に沈着あり 義歯にも沈着あり(下顎前歯部)
TCI (Tongue Coating Index)	81%
BDR指標	B: a1, D: a, R: a
口腔乾燥	少し認められる

歯科衛生士が施設職員へ行う歯科保健指導内容として適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 歯科訪問診療受診を勧める。
b 義歯の着脱・管理は施設職員が行う。
c 義歯洗浄剤を使用しているか確認する。
d 1日3回施設職員が口腔ケアを実施する。

【問題 82】 20歳の女性。幼少期より定期歯科健康診査を欠かしたことがなかった。歯肉の形で気になるところがあるという。受診時の口腔内写真(別冊午後 No. 35)を別に示す。

- 矢印で示すのはどれか。1つ選べ。
a 肥大
b クレフト
c ステップリング
d メラニン色素沈着

【問題 83】 ストレスに対する身体面の反応はどれか。2つ選べ。

- a 血圧の上昇
b 食欲の低下
c 不安の増強
d 飲酒量の増加

【問題 84】 頭頸部癌に対する放射線治療の早期にみられる有害事象はどれか。2つ選べ。

- a う蝕
b 嚥下痛
c 味覚障害
d 顎骨骨髓炎

【問題 85】 3歳の男児。3歳児健康診査の際にかみ合わせの指摘を受けたという。保健センターで個別保健指導を行うことになった。歯科健康診査の結果を表に示す。

歯	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
の	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
状	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40

むし歯の有無: ① A B C₁ C₂
 要治療のむし歯: ② あり(木)
 歯の汚れ: きれい・少ない・多い
 歯肉・粘膜: 異常なし・あり()
 かみ合わせ: よい・経過観察

管理事項
 ・歯肉の腫れがみられる。
 ・舌の付け根に白い点がある。
 ・歯の裏には歯垢がたまっている。

歯科保健指導として適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 専門医に相談しましょう。
b 見つけしだい、注意してあげましょう。
c 取り外し式の矯正装置を使ってみましょう。
d 指をしゃぶらなかつたら褒めてあげましょう。

【問題 81】 85歳の男性。特別養護老人ホームへ入居しており、入浴・更衣以外は概ね自立して生活をしている。口腔状態を表に示す。

- 適切なものはどれか。1つ選べ。
a ① b ② c ③ d ④

【問題 77】 8歳の女児。う蝕予防を希望して保護者と来院した。歯科医師の指示により家庭でのフッ化物洗口(毎日法)を指導することになった。

- 適切な指導内容はどれか。2つ選べ。
a 義歯を使わないように指示してください。
b 食後の口腔ケア時に義歯を外さないでください。
c 家族に義歯保管用ケースを携行させるよう指示してください。
d かかりつけ歯科で義歯にネームプレートを埋入してもらってください。

【問題 79】 オーラルフレイル対策として地域の後期高齢者を対象に咀嚼状態を調査した。咀嚼スコアの結果をグラフに示す。

- 必要な対策はどれか。1つ選べ。
a 専門医による対応
b オーラルフレイルの講話
c かかりつけ歯科医での対応
d 口腔機能向上事業のための人材育成

【問題 80】 地域保健事業で歯周病の予防を進めるためのPDCAサイクルのうち、Pはどれか。1つ選べ。

- a 事業評価
b 情報提供
c 健康づくり計画
d 教育内容の見直し

【問題 81】 85歳の男性。特別養護老人ホームへ入居しており、入浴・更衣以外は概ね自立して生活をしている。口腔状態を表に示す。

【口腔状態】

現在歯	3 3
歯肉状態	残存歯部分に歯肉炎が認められる
歯垢付着	残存歯、義歯ともに磨き残しあり
歯石沈着	下顎舌側部に沈着あり 義歯にも沈着あり(下顎前歯部)
TCI (Tongue Coating Index)	81%
BDR指標	B: a1, D: a, R: a
口腔乾燥	少し認められる

歯科衛生士が施設職員へ行う歯科保健指導内容として適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 歯科訪問診療受診を勧める。
b 義歯の着脱・管理は施設職員が行う。
c 義歯洗浄剤を使用しているか確認する。
d 1日3回施設職員が口腔ケアを実施する。

【問題 82】 20歳の女性。幼少期より定期歯科健康診査を欠かしたことがなかった。歯肉の形で気になるところがあるという。受診時の口腔内写真(別冊午後 No. 35)を別に示す。

- 矢印で示すのはどれか。1つ選べ。
a 肥大
b クレフト
c ステップリング
d メラニン色素沈着

【問題 86】 56歳の男性。肺癌のため入院加療中である。骨に痛が転移したためデノスマブを投与中であるという。口腔内の状況が悪化したため、歯科訪問診療の依頼があった。口腔内写真(別冊午後No.36)を別に示す。丸で囲んだ部分は患部を示す。歯科保健指導で適切なものはどれか。



- 2つ選べ。
- a 患部を清潔に保ちましょう。
 - b 患部はなるべく乾燥させましょう。
 - c 口腔ケアは含嗽だけにしましょう。
 - d 刺激の少ない歯磨剤を使いましょう。

【問題 87】 4歳の女児。定期歯科健康診査のため保護者と来院した。う蝕はない。保護者が仕上げ磨きをしているという。本人にブラッシング指導を行うことになった。適切なものはどれか。1つ選べ。

- a バス法
- b フォーンズ法
- c チャーターズ法
- d スティルマン改良法

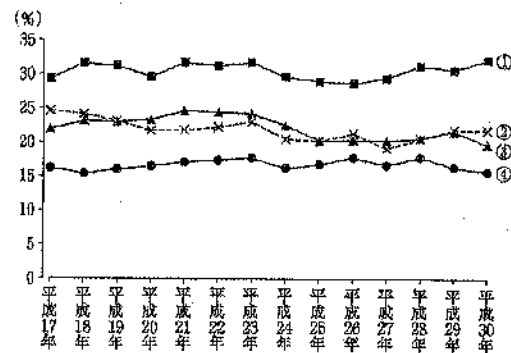
【問題 88】 妊娠後期の食生活指導について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 1日2回食にする。
- b 間食を組み入れる。
- c 主食の量を減らす。
- d 摂取品目を増やす。

【問題 89】 高齢者において6か月間で明らかな栄養障害とみなす体重減少率はどれか。1つ選べ。

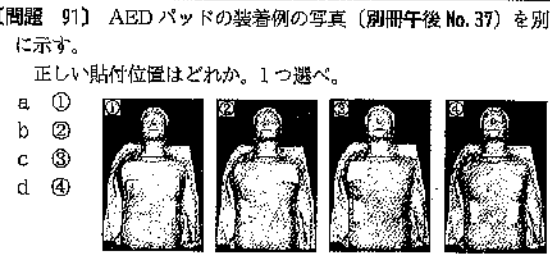
- a 1%
- b 3%
- c 7%
- d 10%

【問題 90】 国民健康・栄養調査における「20歳以上の男性肥満者の割合」、「20歳以上の女性肥満者の割合」、「20歳代女性のやせの者の割合」および「65歳以上高齢者の低栄養傾向の者の割合」の推移を図に示す。



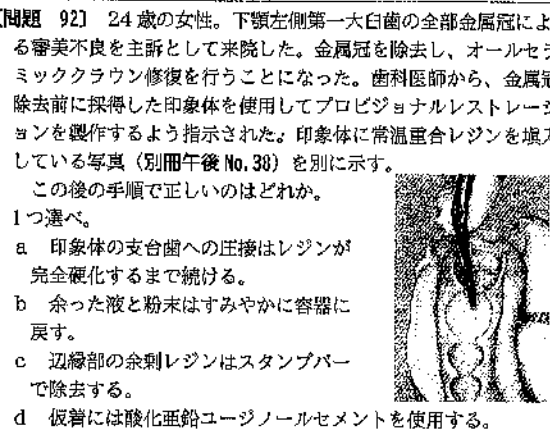
- 「20歳以上の男性肥満者」はどれか。1つ選べ。
- a ①
 - b ②
 - c ③
 - d ④

【問題 91】 ABDパッドの装着例の写真(別冊午後No.37)を別に示す。正しい貼付位置はどれか。1つ選べ。



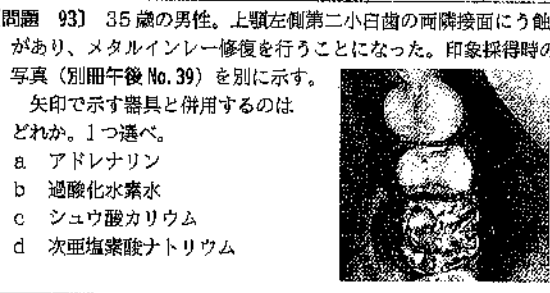
- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

【問題 92】 24歳の女性。下顎左側第一大臼歯の全部金属冠による審美不良を主訴として来院した。金属冠を除去し、オールセラミッククラウン修復を行うことになった。歯科医師から、金属冠除去前に採得した印象体を使用してプロビジョナルレストレーションを製作するよう指示された。印象体に常温重合レジンを入れている写真(別冊午後No.38)を別に示す。この後の手順で正しいのはどれか。1つ選べ。



- a 印象体の支台歯への圧接はレジンが完全硬化するまで続ける。
- b 余った液と粉末はすみやかに容器に戻す。
- c 辺縁部の余剰レジンスタンプバーで除去する。
- d 仮着には酸化亜鉛エポキシノールセメントを使用する。

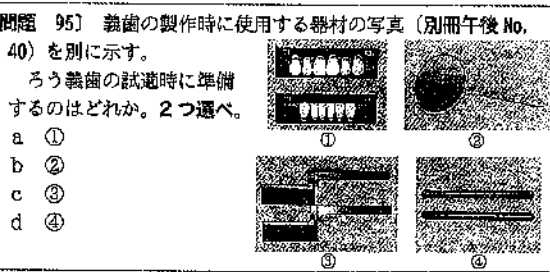
【問題 93】 35歳の男性。上顎左側第二小臼歯の両隣接面にう蝕があり、メタルインレー修復を行うことになった。印象採得時の写真(別冊午後No.39)を別に示す。矢印で示す器具と併用するのはどれか。1つ選べ。



- a アドレナリン
- b 過酸化水素水
- c シュウ酸カリウム
- d 次亜塩素酸ナトリウム

【問題 94】 伝達麻酔用の注射器は、プランジャーの先端が①コルクスクリュー状になっている。注射針の太さは②18Gであり、長さは③30mmである。局所麻酔カートリッジは④紫外線消毒器に保管したものを使用する。下線部分で正しいのはどれか。2つ選べ。

【問題 95】 義歯の製作時に使用する器材の写真(別冊午後No.40)を別に示す。ろう義歯の試適時に準備するのはどれか。2つ選べ。



- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

【問題 91】 ABDパッドの装着例の写真(別冊午後No.37)を別に示す。正しい貼付位置はどれか。1つ選べ。

- 答え a
- a、× b、× c、× d. AED電極パッドは前胸部の右上および左下に貼付する。

【問題 92】 24歳の女性。下顎左側第一大臼歯の全部金属冠による審美不良を主訴として来院した。金属冠を除去し、オールセラミッククラウン修復を行うことになった。歯科医師から、金属冠除去前に採得した印象体を使用してプロビジョナルレストレーションを製作するよう指示された。印象体に常温重合レジンを入れている写真(別冊午後No.38)を別に示す。この後の手順で正しいのはどれか。1つ選べ。

- 答え c
- × a レジンが完全硬化すると、プロビジョナルレストレーションが除去できなくなるので、レジンが完全硬化する前に印象体は撤去する。
 - × b 余った液と粉末は容器に戻さずに廃棄する。
 - c 辺縁部の余剰レジンスタンプバー(技工用カーバイドバー)で除去する。
 - × d ユージノールはレジンの重合を阻害するので、仮着には非ユージノール系セメントやポリカルボキレートセメントを使用する。

【問題 93】 35歳の男性。上顎左側第二小臼歯の両隣接面にう蝕があり、メタルインレー修復を行うことになった。印象採得時の写真(別冊午後No.39)を別に示す。矢印で示す器具と併用するのはどれか。1つ選べ。

- 答え a
- a、× b、× c、× d 矢印は歯肉圧排糸である。歯肉圧排糸と併用する歯肉圧排用薬剤には、アドレナリンの血管収縮剤(止血薬)や塩化アルミニウム、塩化第二鉄、ミョウバンなどの血管収縮剤が使用される。

【問題 94】 伝達麻酔用の注射器は、プランジャーの先端が①コルクスクリュー状になっている。注射針の太さは②18Gであり、長さは③30mmである。局所麻酔カートリッジは④紫外線消毒器に保管したものを使用する。下線部分で正しいのはどれか。2つ選べ。

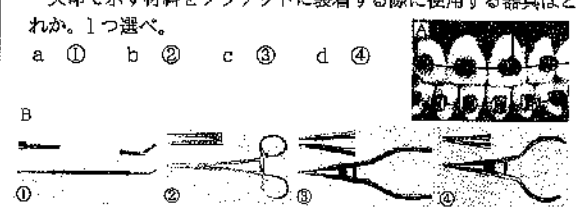
- 答え ac
- a、× b、○ c、× d 伝達麻酔用の注射器は、吸引テストができるようにプランジャー(内筒)の先端がコルクスクリュー状になっている。注射針の太さは25Gや27Gであり、長さは30mmである。局所麻酔薬に添加されているアドレナリンは熱や紫外線で分解されるので、カートリッジは15℃以下の冷暗所(冷蔵庫)に保管しておき、使用前に冷暗所から取り出して、室温遮光下で保管したものを使用する。

【問題 95】 義歯の製作時に使用する器材の写真(別冊午後No.40)を別に示す。ろう義歯の試適時に準備するのはどれか。2つ選べ。

- 答え bc
- × a ①は義歯に使用する人工歯である。ろう義歯の試適時には、人工歯排列は終了しているため、準備する必要はない。
 - b ②は手鏡である。人工歯排列後の患者自身による審美性の確認に用いる。
 - c ③は咬合紙ホルダー、咬合紙(赤、青)である。ろう義歯の咬合診査に用いる。
 - × d ④はコンパウンド印象材である。義歯の精密印象時の筋圧形成に用いる。


【問題 96】 矯正装置装着の模型写真（別冊午後 No. 41A）と器具の写真（別冊午後 No. 41B）を別に示す。矢印で示す材料をブラケットに装着する際に使用する器具はどれか。1つ選べ。

a ① b ② c ③ d ④




【問題 97】 口内法エックス線撮影で使用する器具の写真（別冊午後 No. 42）を別に示す。この器具の使用で防止できるのはどれか。1つ選べ。

a 二重撮影
b コーンカット
c 照射時間の不足
d フィルムの裏返し



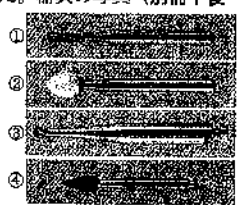
【問題 98】 印象体の写真（別冊午後 No. 43）を別に示す。水洗後に使用する消毒液はどれか。2つ選べ。

a 8.0% エタノール
b 2.0% グルタルアル溶液
c 0.5% 次亜塩素酸ナトリウム溶液
d 0.1% ベンザルコニウム塩化物溶液



【問題 99】 38歳の男性。昨晚歯が痛くて眠れなかったことを主訴として来院した。診断の結果、下顎右側第一大臼歯に装着されている金属冠を除去することになった。器具の写真（別冊午後 No. 44）を別に示す。準備するのはどれか。1つ選べ。

a ①
b ②
c ③
d ④




【問題 100】 小児の歯科治療時におけるトークンエコノミー法に基づいた対応はどれか。1つ選べ。

a 適切な行動をとった場合にごほうびを与える。
b これから使用する器具の使い方を実際に見せる。
c これから行うことについて、わかりやすく説明する。
d 他の小児が上手に治療を受けている場面を観察させる。

【問題 101】 器具の写真（別冊午後 No. 45）を別に示す。歯周外科手術に使用する器具と使用目的の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

a ① ——— 歯肉切除
b ② ——— 肉芽組織の除去
c ③ ——— 歯周ポケット測定
d ④ ——— ルートプレーニング



【問題 96】 答え b

× a ①はリガチャーツイスターである。リガチャーワイヤーによるブラケットとアーチワイヤーの結紮に用いる。
○ b ②はモスキートフォーセップスである。矢印はエラストメリックモジュールで、これによる結紮に用いるのがモスキートフォーセップスである。
× c ③はセパレーティングブライヤーである。エラストリックセパレータの把持、歯間部への挿入に用いる。
× d ④はクランプフォーセップスである。ラバーダム防護で使用するクランプの着脱に用いる。

【問題 97】 答え b

× a 二重撮影を防止するには、撮影前と撮影後のフィルムを区別できるように環境を整えることが重要である。
○ b 写真の器具はフィルム用フォルダである。フィルムの正しい位置づけができるため、コーンカットを防止できる。
× c 照射時間の不足は照射時間の設定ミスが原因である。タイマー設定時にしっかり確認することが重要である。
× d フィルムの裏返しは術者の不注意が原因である。フィルムパケットの表裏をしっかり確認することが重要である。

【問題 98】 答え bc

× a 8.0% エタノールを消毒に用いることはない。
○ b、○ c 印象体は水洗後、0.1～1.0% 次亜塩素酸ナトリウム溶液であれば、15～30分間浸漬、2～3.5% であれば、30～60分間浸漬する。
× d 0.1% ベンザルコニウム塩化物溶液は低水準消毒剤の1つである。

【問題 99】 答え a

○ a ①はFG用カーバイドバーである。金属冠の除去に用いる。
× b ②はFG用ホワイトポイントである。コンポジットレジンやガラスアイオノマーセメントの研磨に用いる。
× c ③はCA用スチールバー（形状はラウンドバー）である。軟化象牙質の除去や髓腔穿孔に用いる。
× d ④はCA用アブレーション（カーボラダム）ポイントである。金属、コンポジットレジン、ガラスアイオノマーセメントの形態修正に用いる。

【問題 100】 答え a

○ a 適切な行動をとった場合にごほうび（トークン：シールやカード）を与えるのが、トークンエコノミー法である。
× b、× c これから使用する器具の使い方を実際に見せ、これから行うことについて、わかりやすく説明するのは、Tell Show Do (TSD) 法である。
× d 他の小児が上手に治療を受けている場面を観察させるのは、モデリング法である。

【問題 101】 答え a

○ a ①はカーランドメスで、歯肉切除のために用いる。歯肉切除術で用いられる。
× b ②はポケットマーカである。ポケット底を歯肉表面に印記するために用いる。歯肉切除術で用いられる。
× c ③は骨ファイル（ボーンファイル）である。歯槽骨整形や不良肉芽組織の除去のために用いる。歯肉剥離掻爬術（フラップ手術）や歯周組織再生誘導法（GTR法）で用いられる。
× d ④は骨ノミ（チゼル、マイセル）である。歯槽骨整形や歯の分割のために用いる。歯肉剥離掻爬術（フラップ手術）、歯周組織再生誘導法（GTR法）、埋伏歯除去などで用いられる。

【問題 102】 神経性過食症を有する者の上顎前歯部に多くみられるのはどれか。1つ選べ。

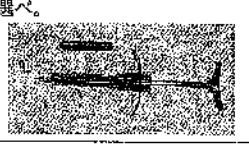
a 歯質の黒変
b 歯肉の退縮
c 口蓋側エナメル質の損耗
d 唇側歯頸部のくさび状欠損

【問題 103】 54歳の女性。食事時の顎下部疼痛を主訴として来院した。左側口底部の唾石症が疑われたため、口内法エックス線画像検査を行うことになった。適した撮影法はどれか。1つ選べ。

a 咬合法
b 咬翼法
c 平行法
d 二等分法


【問題 104】 51歳の男性。上顎右側第一大臼歯の冷水痛を主訴として来院した。う蝕症第2度と診断され、メタルインレー修復を行うことになった。使用する印象材の写真（別冊午後 No. 46）を別に示す。印象採得時の温度はどれか。1つ選べ。

a 約25℃
b 約35℃
c 約60℃
d 約90℃




【問題 105】 歯冠修復処置に使用する器具の写真（別冊午後 No. 47）を別に示す。使用時に留意すべきなのはどれか。1つ選べ。

a 強い光線下で行う。
b 判定は短時間で行う。
c ラバーダム装着後に行う。
d 歯面を十分に乾燥させて行う。



【問題 106】 口腔機能訓練に使用する器具の写真（別冊午後 No. 48A）とトレーニング時の写真（別冊午後 No. 48B）を別に示す。このトレーニングの特徴はどれか。2つ選べ。

a 無歯顎者にも適用できる。
b 構音機能の改善を目的とする。
c 訓練中は医療従事者の立会が必要である。
d 口腔機能の発達期・減退期両方に適用できる。



【問題 107】 上顎前歯部が欠損すると発音が困難になる語音はどれか。2つ選べ。

a キ
b チ
c マ
d レ

【問題 102】 答え c

× a 歯質の黒変はう蝕が原因である。
× b 歯肉の退縮は重度の歯周疾患でみられる。
○ c 神経性過食症では、肥満恐怖のために過食後の嘔吐がみられる。胃酸による酸蝕症は上顎前歯部口蓋側のエナメル質の損耗（tooth Wear）として現れる。
× d 唇側歯頸部にくさび状欠損がみられるアブフラクションは、過度な咬合力が原因で生じる。

【問題 103】 答え a

○ a 咬合法は唾石症、埋伏歯の位置確認、顎骨骨髄炎の骨膜反応、外骨症（下顎隆起）の診断に適した撮影法である。
× b 咬翼法は隣接面う蝕や辺縁性歯周炎の診断に適した撮影法である。
× c 平行法はう蝕や歯周疾患、根尖病変、歯の形態の確認に適した撮影法である。
× d 二等分法はう蝕や歯周疾患、根尖病変、根管長の確認に適した撮影法である。

【問題 104】 答え c

× a、× b、○ c、× d 写真は寒天-アルジネート連合印象で用いる寒天カートリッジとシリンジである。寒天印象材は寒天コンディショナーで約100℃で5～10分間加熱後、60℃で保温する。印象採得直前には約45℃で温度と流動性を調整する。

【問題 105】 答え b

× a 写真はシェードガイドである。自然光線下で行う。
○ b 判定は短時間で行う。
× c ラバーダム装着下では行わない。
× d 患歯と隣接歯の歯面は濡らして行う。

【問題 106】 答え ad

○ a 写真の器具はりっぶるとれーなー®で、小児だけではなく、無歯顎者にも適用できる。
× b りっぶるとれーなー®は口唇機能の改善を目的とする。
× c りっぶるとれーなー®の使用法を指導すれば、訓練中に医療従事者の立会が必要ない。
○ d りっぶるとれーなー®は口腔機能の発達期・減退期両方に適用できる。

【問題 107】 答え bd

× a /k/ は軟口蓋音のため、上顎前歯部が欠損しても発音は困難にならない。
○ b、○ d /t/ や /r/ は歯茎音のため、上顎前歯部が欠損すると発音が困難になる。
× c /m/ は両唇音のため、上顎前歯部が欠損しても発音は困難にならない。

【問題 108】 75 歳の男性。舌癌のため放射線治療を受けている。
口腔内に中等度の疼痛、潰瘍があり、口は開けづらいが軽口摂取は可能である。
セルフケアの指等として適切なのはどれか。2 つ選べ。
a 口腔清掃後の保湿剤の塗布
b フッ化物配合歯磨剤の使用
c アルコール入り含嗽剤の使用
d ヘッドが大きい歯ブラシの使用

答え a b
○ a 舌癌のための放射線治療後に口腔乾燥を生じることが考えられるため、口腔清掃後の保湿剤の塗布を指導する。
○ b 放射線治療後に口腔乾燥が生じるとう蝕になりやすいため、フッ化物配合歯磨剤の使用を指導する。
× c 口腔内に中等度の疼痛や潰瘍があるため、アルコール入り含嗽剤の使用は避けるべきである。
× d 口が開けづらいため、ヘッドが大きい歯ブラシの使用は避けるべきである。

【問題 109】 4 歳の男児。転居に伴い前医からの紹介で来院した。
初診時の口腔内写真（別冊午後 No. 49）を別に示す。
障害されていると考えられるのはどれか。2 つ選べ。
a 飲水 b 呼吸 c 運動発達 d 免疫機能



答え a b
○ a、○ b 口腔内写真から上顎左側側切歯部に口蓋裂がみられるため、飲水や呼吸が障害されていると考えられる。
× c、× d 口蓋裂があるからといって運動発達や免疫機能が障害されているとは考えられない。

【問題 110】 機器の写真（別冊午後 No. 50）を別に示す。
口腔機能低下症の評価に用いるのはどれか。2 つ選べ。



答え b d
× a ①は根管長測定器である。
○ b ②は口腔水分計のため、口腔乾燥の検査に用いる。
× c ③はレーザー蛍光強度測定器のため、う蝕の検査に用いる。
○ d ④は自動測定機（オーラルディアドコキネシス測定装置）〈健口くんハンディ〉のため、舌口唇運動機能低下の検査に用いる。